

消防年報

令和2年版

南但消防本部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び令和元年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、令和2年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

令和2年6月

南但消防本部



南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
令和元年度中の主要行事	12
おもな出来事	14
一目統計	16

【概要編】

管理	18
予防	19
災害活動の概要	
火災	20
救急	22
救助	24
通信	26

【統計資料編】

管理編

令和元年度予算状況	29
令和元年度職員給与費等の実態	29
階級別勤続年数	30
年齢別職員構成	30
研修派遣状況	31
階級別資格取得状況	32
平成30年度一般会計決算の概要	33
消防相互応援協定等の締結状況	34

予防編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）	36
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）	37
確認申請処理状況	38
消防教室実施状況	38
危険物施設数及び立入検査回数	39
危険物施設設置許可及び変更許可の状況	39
市別・数量別危険物施設数	40
市別・類別危険物施設数	40
各種届出等受理状況	41

警防編

火災

年次別火災発生状況	43
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
使用した消防水利	46
覚知から現場到着までの所要時間	47
放水開始から鎮火までの所要時間	47
出火原因	48
用途別火災発生状況	49

救急

年次別救急発生状況	50
月別救急発生状況	51
曜日別救急発生状況	52
時間別救急発生状況	53
覚知から現場到着までの所要時間状況	54
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	54
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	55
救急隊の行った応急処置状況	55
事故種別・収容医療機関状況	56
地域別・収容医療機関状況	56
ドクターヘリ・ドクターカー月別出動状況	57
普通救命講習実施状況	57

救助

年次別救助発生状況	58
月別救助発生状況	59
曜日別救助発生状況	60
時間別救助発生状況	61
事故種別・傷病程度別状況	62

通信

年次別 119 番受信状況	63
---------------	----

装備

消防用機器の配置状況	64
------------	----

各種団体

消防団組織図	66
協力団体組織図	67

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

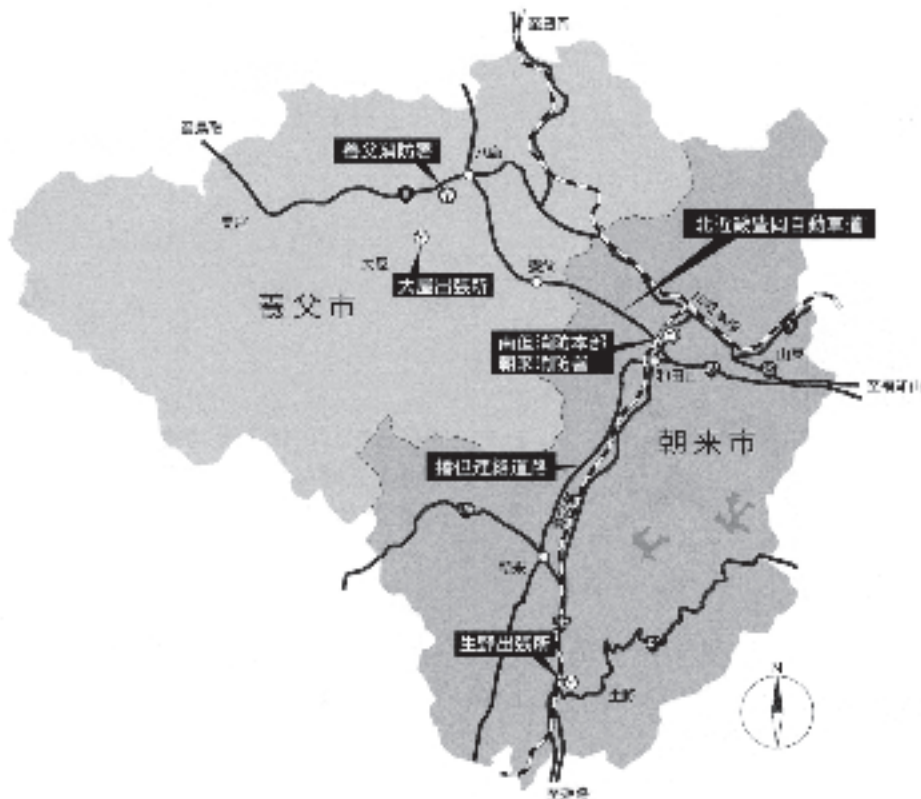
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号及び427号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、国道312号に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号に沿ってJR山陰線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)
養父市	23,087	9,365	422.91
朝来市	30,076	12,322	403.06
合計	53,163	21,687	825.97

R2.3.31 現在 住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市

「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



【市章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】 ミズバショウ

【市木】 ブナ

【主な産業・経済】

大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝 100 選）

明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔

全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】

やっぶー

朝来市

「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



【市章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】 さくら

【市木】 けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本 100 名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）

生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園

神子畑鑄鉄橋（日本最古の全鑄鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】

ちゃあいい

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】
朝来市和田山町枚田436番地1
【建築年月】
昭和51年12月（平成16年9月耐震化工事完了）
（平成28年9月駐車場舗装修繕工事完了）
【敷地面積】
2,651.4㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造



消防署

養父消防署

【住所】
養父市八鹿町高柳173番地
【建築年月】
昭和53年12月（平成26年12月耐震化工事完了）
（平成30年7月駐車場舗装修繕工事完了）
【敷地面積】
1,368.81㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造2階建



出張所

朝来消防署生野出張所

【住所】
朝来市生野町口銀谷222番地1
【建築年月日】
昭和52年11月
【敷地面積】
585.55㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造2階建



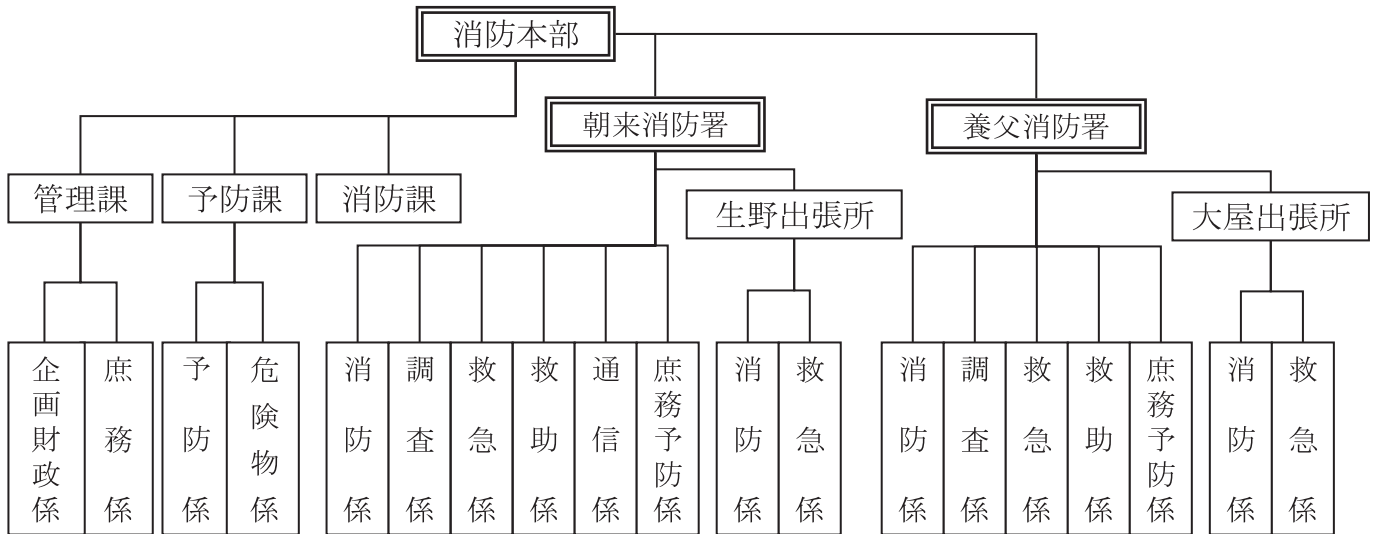
養父消防署大屋出張所

【住所】
養父市大屋町樽見549番地
【建築年月】
昭和54年12月
（平成26年8月耐震化（事務所棟建替）工事完了）
【敷地面積】
751.93㎡
【構造】
鉄骨造2階建



南但消防本部組織

R2. 4. 1現在



階級別職員配置状況

R2. 4. 1現在

区 分		消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長 消 防 士	計
消防本部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	管 理 課		2	2		3	7
	予 防 課		2 (1)	1	3	1	7 (1)
	消 防 課		4	3		1	8
朝来消防署	署 長		(1)				(1)
	副 署 長		1 (2)				1 (2)
	庶務予防係			(2)	(3)	(1)	(6)
	第 一 部		(3)	4 (2)	1 (2)	6	11 (7)
	第 二 部		2 (1)	4 (2)	1 (1)	5 (1)	12 (5)
	生野出張所		1				1
	第 一 部		1	1	1	2	5
	第 二 部		(1)	2	1	1	4 (1)
養父消防署	署 長		1				1
	副 署 長		1				1
	庶務予防係		2	2		1	5
	第 一 部		3	3 (1)	2	3	11 (1)
	第 二 部		3	4 (1)	1	2 (1)	10 (2)
	大屋出張所		1				1
	第 一 部		(1)	1	2	1	4 (1)
	第 二 部			3	1	1	5
計	1	25 (10)	30 (8)	13 (6)	27 (3)	96 (27)	

※ () は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(令和2年3月31日現在)

種 別		メーカー	導入年度	経過年数	エンジン	
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成30年度	1年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-I型	日野	令和元年度	一年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年度	3年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年度	2年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	10年	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	7年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成29年度	2年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成14年度	17年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	10年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	8年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	10年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年度	10年	ハイブリット
生野出張所	13	消防ポンプ自動車CD-I型	日野	平成30年度	1年	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	5年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	7年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	9年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-I型	三菱	平成15年度	16年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	13年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	6年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	令和元年度	一年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	12年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	10年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年度	6年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-I型	トヨタ	平成23年度	8年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成30年度	1年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	6年	ガソリン

沿革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式举行 4/1） 消防吏員 4 名を採用（条例定数 98 名） 県下広域を含めて各消防応援協定を締結（詳細は 34 頁に掲載）
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN 119 だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式举行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員 7 名を採用（条例定数 98 名）
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災 20 年メモリアル訓練実施（南但消防本部） 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員 7 名（うち 1 名、初の女性消防吏員）を採用（条例定数 98 名）
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始 消防吏員 5 名を採用（条例定数 98 名） 熊本地震緊急消防援助隊派遣（4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ 12 名を派遣）
8月	第 45 回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装繕工事完了
11月	15m はしご付消防自動車を更新し朝来消防署に配備
平成29年 4月	消防吏員 2 名（うち 1 名、初の女性救急救命士）を採用（条例定数 98 名）
9月	養父市住宅密集地火災防ぎょ訓練
11月	第 26 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（千葉市）
12月	第 6 回全国消防職員剣道大会：女子個人の部第 3 位
平成30年 3月	救助工作車を更新し朝来消防署に配備（緊急消防援助隊 救助小隊に登録）
4月	消防吏員 6 名を採用（条例定数 98 名）
7月	平成 30 年 7 月豪雨 緊急消防援助隊派遣（7/18～7/20 救助小隊を派遣） 養父消防署駐車場アスファルト舗装繕工事完了
11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市、朝来市）
平成31年 1月	第 27 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（高松市）
3月	水槽付ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員 3 名を採用（条例定数 98 名）
令和元年 6月	G20 大阪サミット特別警戒に救急隊を派遣（6/24～6/30 大阪市）
8月	全国消防救助技術大会（基本泳法の部）に出場し入賞（岡山市）
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備

2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部（署）を設置（新規採用 18 名を含む 20 名で消防業務開始） 神戸市消防局から救急車（1 B 型）を借用
5月	救急車（デリカ）を配備（和田山ライオンズクラブから寄贈）
9月	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を配備、小型動力ポンプ付積載車（B 2 級ポンプ積載）を配備
10月	初任研修を修了した消防士 15 名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田 436 番地 1 に消防本部庁舎竣工、移転 救急車（2 B 型）を配備（日本損害保険協会から寄贈）
昭和52年 1月	消防用無線電話開局
4月	消防吏員 14 名を採用
6月	県道山東・柏原線の遠阪トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結
9月	査察広報車を配備
10月	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を配備
12月	生野町口銀谷 222 番地 1 に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員 9 名を配置、消防ポンプ自動車（BD-I 型）及び救急車（デリカ）を配備し消防業務開始
昭和53年 1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
4月	消防吏員 9 名を採用（条例定数 43 名）。消防専用電話 119 番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
12月	水槽付消防ポンプ自動車（水 I-B 型）を本署に配備
昭和54年 3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年 2月	救急車（2 B 型）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
11月	広報誌「119 だより」創刊号を発行
12月	救急指令装置 C 型を整備
昭和56年 4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
8月	第 10 回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年 2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
8月	第 11 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
昭和58年 6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得（4/22）、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
8月	第 12 回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
8月	救急車（2 B 型）を更新し出張所に配備（日本消防協会から寄贈）。福知山市と応援協定を締結。 第 13 回全国消防救助技術大会に 4 年連続出場
昭和60年 1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年 6月	河川情報システムを運用開始
8月	第 15 回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
昭和62年 8月	第 16 回全国消防救助技術大会に 2 年連続出場
9月	救急車（2 B 型）を更新し本署に配備（兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈）
昭和63年 2月	救助工作車（I 型）を本署に配備
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年 2月	水槽付消防ポンプ自動車（水 I-A 型）を整備し、出張所に配備

平成元年	9月	査察広報車を更新
	10月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型）を更新し本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成2年	3月	消防訓練塔（15m主訓練塔及び補助訓練塔）が完成
	4月	緊急通報システム運用開始
	8月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新し本署に配備
	10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成3年	4月	救急救命士法成立
	8月	救急車（2B型）を更新し出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
	9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成4年	3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
	9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成5年	4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成6年	2月	消防緊急通信指令施設運用開始
	4月	救急救命士養成所に職員1名を初めて派遣（神戸市 前期）
	11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成7年	1月	兵庫県南部地震発生（1/17、M7.3）、神戸市灘消防署に応援隊派遣（延べ12日間、32名、11台）
	3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
	4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成8年	3月	15mはしご付消防自動車を整備し本署に配備
	6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
	9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
	10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成9年	1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動（～1/25）
	3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
	6月	山東町防災行政無線システム開局 播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得（4/15）。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年	4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年	2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
	8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年	5月	播但連絡道路開通
	8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成13年	7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
	9月	救助工作車を更新し本署に配備（Ⅱ型に更新）
平成14年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
	4月	和田山町及び朝来町のCATV開局
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を更新し、生野出張所に配備
平成15年	7月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を整備し本署に配備 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新し本署に配備
	8月	第32回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
平成16年	4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
	7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣

平成16年	8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号来襲、管内各地で被害発生
	9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
	10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大（管内救助人員66名） 兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊（100隊）及び緊急消防援助隊（大阪府他計139隊）対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う 高規格救急自動車を更新し、出張所に配備
平成17年	3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	朝来市消防本部誕生、（朝来郡4町が合併し朝来市が誕生） 尼崎市JR福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
	11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成18年	3月	薬剤投与認定救命士誕生
	7月	北近畿豊岡自動車道（春日～和田山間）開通
	8月	第35回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
	12月	第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年	2月	高機能消防指令センター運用開始
	6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得（4/24）。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
	8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
	10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
	12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年	8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器（AED）設置施設公表制度開始
平成21年	10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
	12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年	4月	ドクターヘリ運航開始
	12月	ドクターカー運行開始
平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震発生（3/11、M9.0）
	3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣（兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣）
	8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年	6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
	8月	第41回全国消防救助技術大会に4年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式（8/22）
	11月	指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年	3月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年	月	記 事
昭和53年	4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部（署）を設置（新規採用19名を含む24名で消防業務開始）
	5月	査察広報車を配備
	8月	救急車（2B型）2台を配備（八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈）
	9月	消防ポンプ自動車（BD-I型）及び司令車を配備
	10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
	11月	化学消防自動車（II型）を配備
	12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119

		番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年	4月	消防吏員7名を採用
昭和54年	6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)
	9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
	12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始
昭和55年	3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
	4月	消防吏員5名を採用(条例定数35名)
	6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年	5月	救助工作車(I型)を本署に配備
	8月	消防本部書庫及び車庫増築
	11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
	12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年	2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
	3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
	4月	養父郡消防本部発足5周年記念式典挙行
	6月	大屋町婦人防火クラブ結成
	8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年	7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
	8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
	9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和59年	2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
	5月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	防火広報車を更新し本署に配備(日本防火協会から寄贈)
昭和60年	10月	救急車(2B型)を本署に配備(兵庫県農業共済連合会から寄贈)
昭和61年	1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年	4月	公用車を本署に配備
昭和63年	2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
	4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
	8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を更新し出張所に配備
	11月	司令車を更新し本署に配備
平成元年	8月	出張所に救急消毒室を整備
	10月	救急車(2B型)を出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
平成3年	2月	救助工作車(I型)を更新し本署に配備
	10月	緊急通報システム運用開始
平成4年	1月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	救急車(2B型)を本署に配備(日本消防協会から寄贈)
	12月	化学消防車(II型)を更新し本署に配備
平成5年	4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
	11月	救急車(2B型)を本署に配備(養父郡農業協同組合から寄贈)
平成6年	7月	査察広報車を更新し出張所に配備
	11月	防火広報車更新
平成7年	1月	兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣(1/17、延べ11日間、33名、11台)
	10月	救命士養成所に職員1名を初めて派遣(財団九州研修所 後期)

平成 8年 9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年 3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備（日本自動車工業会から寄贈）
7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足 20 周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山捜索装備品整備
平成11年 6月	高規格救急自動車（4WD）を整備し出張所に配備
平成12年 12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年 12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年 10月	司令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員 1 名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車（4WD）を本署に配備
8月	第 32 回全国消防救助技術大会に初出場
12月	消防ポンプ自動車（CD-I 型）を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
4月	養父市消防本部誕生（養父郡 4 町が合併し養父市が誕生）
8月	第 33 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
10月	台風 23 号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第 34 回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの 119 番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車（II 型）を更新し本署に配備
8月	第 36 回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備（JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈）
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・IP 電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生（M9.0）
3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣（兵庫県隊、但馬ブロック隊として計 14 名派遣）
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
9月	消防ポンプ自動車（CD-I 型）を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式（8/22）
平成25年 3月	養父市消防本部を閉庁

令和元年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者3名） 山火事防止月間（～4/30）
4月 3日	兵庫県消防学校「初任科」3名入校（於：兵庫県消防学校）
4月 7日	養父市消防大会（於：八鹿文化会館）
4月10日	養父警察署テロ対策パートナーシップ推進会議（於：養父警察署）
4月12日	和田山高校職場体験（於：南但消防本部）
4月14日	朝来市消防大会（於：和田山ジュピターホール）
4月18日	南但危険物安全協会理事会（於：和田山ホテル）
4月21日	消防ふれあい祭り（於：イオン和田山店）
4月26日	第1回消防関係機関連絡会議（於：南但消防本部）
5月 1日	即位の日（改元：平成から令和へ）
5月 7日	救助隊強化訓練開始（～7/19）
5月17日	朝来市自主防災推進協議会役員会（於：南但消防本部）
5月19日	全但消防協議会総会（於：和田山ジュピターホール）
5月20日	養父市婦人防火クラブ代議員会（於：養父消防署）
5月22日	南但危険物安全協会総会（於：和田山ジュピターホール）
5月23日	甲種防火管理新規講習（5/23, 24）
5月27日	養父市トライやるウィーク（～5/31）
5月28日	全国消防長会総会（於：福岡県）
5月29日	水防連絡会（於：養父土木事務所）
5月31日	水防技術講習会（於：三木市）
6月 2日	危険物安全週間（～6/8）
6月 3日	朝来市トライやるウィーク（～6/7）
6月 5日	水難救助訓練（6/5, 6 於：山東町金浦調整池）
6月 7日	テロ対策会議（於：朝来警察署）
6月13日	但馬地区消防本部救助合同訓練（於：美方広域消防本部）
6月16日	養父市消防団水防工法訓練（於：広谷区） 朝来市消防団幹部・女性・新入団員研修（於：南但消防本部・山東町緑風ホール）
6月24日	G20大阪サミット特別警戒への救急隊派遣（～6/30 於：大阪市おおきにアリーナ舞洲）
6月27日	朝来市自主防災推進協議会総会（於：和田山ジュピターホール）
7月 2日	第1回ドクターヘリ個別症例検討会（於：南但消防本部）
7月12日	危険物法定講習講師研修会（於：東京都）
7月20日	第48回近畿地区救助指導会（於：三木市）
7月27日	養父市婦人防火クラブ総会（於：養父公民館）
7月29日	鳥取県消防防災航空隊但馬3本部合同訓練（於：但馬空港）
8月 4日	あさごキッズタウン（於：朝来市役所朝来支所）
8月 6日	朝来市消防団生野支団合同消防訓練（於：生野町川尻区）
8月 9日	消防財政実務研修会（於：大阪市）
8月25日	全国消防救助技術大会（於：岡山市）
9月 1日	養父市・朝来市一斉避難訓練
9月 2日	救急救命士養成課程入校（於：兵庫県消防学校）
9月 5日	但馬MC救急訓練（於：豊岡市消防本部）

月 日	内 容
9月19日	第22回兵庫県下火災調査研究会（於：神戸市）
9月20日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）
9月24日	兵庫県防災ヘリ合同訓練（於：竹田城跡）
9月26日	第84期初任科卒業式（於：兵庫県消防学校）
10月1日	危険物保安講習（於：和田山ジュピターホール）
10月10日	危険物施設防火研修会（於：南但消防本部）
10月18日	キャリアトークカフェ（於：和田山高校）
10月21日	播但連絡道路夜間合同訓練（於：播但連絡道路 城山トンネル）
10月25日	朝来市生野工業団地連絡協議会（於：サンワ産業株式会社生野工場事務所）
10月27日	養父市総合防災訓練（於：養父市八鹿町小山）
10月29日	第2回ドクターヘリ症例検討会（於：南但消防本部）
11月2日	豊岡病院「集団災害訓練2019」（於：公立豊岡病院）
11月3日	ひょうご消防のつどい2019（於：丹波市）
11月4日	朝来ふれあい元気まつり（於：朝来市役所朝来支所）
11月5日	JR列車事故対応合同訓練（於：JR和田山駅）
11月8日	養父消防署、朝来消防署一日消防官
11月9日	秋季全国火災予防運動（～11/15）
	朝来市消防団和田山支団夜間合同消防訓練（於：和田山町中区）
11月10日	関宮地区住宅密集地火災防ぎょ訓練（於：関宮コミュニティセンター）
	朝来市消防団山東支団早朝合同消防訓練（於：南但馬自然学校）
11月12日	旅館・ホテル防火研修会（於：南但消防本部）
11月17日	消防ふれあいまつり（於：養父市Yタウン）
11月21日	近畿救急医学研究会（於：豊岡市アイティ）
	緊急車両指導員養成研修（11/21,22 於：はりま交通研修センター）
11月24日	緊急車両運転者特別研修（11/24,25 於：はりま交通研修センター）
11月27日	朝来市消防団生野支団防火訪問
12月1日	消防訓練強化月間（～12/15）
12月3日	雪害対策会議（於：養父市エイドホール）
12月15日	年末年始特別警戒（前期12/15～12/24、後期12/25～1/3）
12月20日	養父消防署高規格救急自動車更新
1月10日	令和2年消防出初式（於：南但消防本部）
1月19日	朝来市文化財消防訓練（於：和田山町枚田 赤淵神社）
1月20日	朝来消防署CD-I型消防ポンプ自動車更新
1月26日	養父市消防団八鹿方面隊合同消防訓練（於：八鹿町馬瀬区）
2月13日	第16回近畿消防職員駅伝大会（於：大阪市）
2月20日	朝来警察署テロ対策パートナーシップ推進会議（於：朝来警察署）
2月21日	兵庫県危険物安全協会但馬ブロック会議（於：但馬長寿の郷）
2月25日	但馬地域メディカルコントロール協議会救急研修会（於：公立豊岡病院）
3月1日	春季全国火災予防運動（～3/7）
	養父市消防団養父方面隊合同消防訓練（於：養父市小城区）
3月8日	救急救命士国家試験（於：大阪市）
3月12日	救急救命士養成課程修了式（於：兵庫県消防学校）
3月31日	退職者辞令交付式（退職者4名）

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式 (4月1日)

4月から新しく3名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



消防ふれあい祭り (4月21日、11月17日)

昨年に引き続き朝来市、養父市内で消防ふれあい祭りを開催しました。多くのご来場ありがとうございました。



トライやるウィーク (5月27日～6月7日)

和田山、朝来、八鹿、養父、関宮中学の2年生8名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などにトライしました。



水難救助訓練 (6月5日)

磯部金浦池、温水プール等を使用し、水難救助訓練を実施しました。水中という特殊な環境のなか、各隊員は知識、技術の習得に努め、訓練に取り組みました。



第48回全国消防救助技術大会 (8月25日)

南但消防本部の代表として、選考された救助隊員が出場。畠山副士長が全国大会に出場し、好成績を収め入賞しました。



養父市総合防災訓練 (10月27日)

地震が発生したとの想定で訓練を行い、関係機関と連携した活動を実施することで、実災害時の初動体制、協力体制の強化を図ることができました。

～おもな出来事～



JR列車事故対応合同訓練 (11月5日)
消防本部、JR西日本、朝来警察、朝来医療センター、八鹿病院の連携強化を図るため、列車事故を想定した合同訓練を実施しました。



和田山高校小型ポンプ操法大会 (11月7日)
高校生が、総合学習の一環として小型ポンプ操法を行いました。規律ある動作で、日頃の訓練成果を披露しました。



一日消防官 (11月8日)
女性消防団員4名が消防長から辞令を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、園児たちに家庭内の火災予防を呼びかけました。



養父市密集地火災防ぎょ訓練 (11月10日)
秋の火災予防運動に伴い、航空隊と合同で住宅密集地火災防御訓練を実施しました。訓練を通して、地域住民と関係機関の更なる連携強化を図りました。



消防自動車更新
(救急車12月24日、ポンプ車1月25日)
救急自動車、消防自動車を更新しました。充実した資機材と現場における活動能力の向上により、あらゆる災害現場に備えていきます。



消防出初式 (1月10日)
南但消防本部発足7周年を迎えました。今年は和田山高校の生徒を招き、ポンプ操法を披露していただきました。救助訓練、一斉放水訓練では、士気の高さを示しました。

一 目 統 計

構成市町	面積	人口	世帯数
2市	825.97km ²	53,163人	21,687世帯
養父市 朝来市	養父市422.91km ² 朝来市403.06km ²	養父市 23,087人 朝来市 30,076人	養父市 9,365世帯 朝来市 12,322世帯

予 算	組 織	職員数	消防団員数
946,567千円	消防本部 1 消 防 署 2 出張所 2	97名	2,164名 養父市 1,200名 朝来市 964名

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,115棟 養父市1,477棟 朝来市1,638棟	311施設 養父市 160施設 朝来市 151施設	朝来市自主防災 推進協議会 409会員 地域会員 159会員 事業所会員245会員 賛助会員 5会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 10クラブ 幼年消防クラブ 7クラブ 少年消防クラブ 2クラブ 婦人防火クラブ 1クラブ

火 災	救 急	救 助	その他
24件 【出火原因】 ①焼却火 ②不明 ③ガスこんろ・電気こんろ 電気溶断器 乾燥機・焼却炉 取灰・その他	出動件数 3,079件 搬送人員 2,823名 【事故種別】 ①急病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 52件 救助人員 31名 【事故種別】 ①交通事故 ②水難事故 ②建物等による事故	出動件数 1,027件 【種別】 ①へり支援 805件 ②救急支援 190件 ③その他 32件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,537回 緊急通報受信回数 2,797回	タンク車 1台 ポンプ車 4台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化学車 1台	高規格救急車 6台

概 要 編

凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」……………該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」……………負数

「(空白)」…該当なし

管 理

1 令和元年度消防行政の推進

元号が「平成」から「令和」に改められた 2019 年度は、ラグビーワールドカップや G20 大阪サミットなどの世界的なイベントが国内で開催されました。G20 大阪サミットでは、当本部から特別警戒のため救急隊を大阪市に派遣し、現地の警戒にあたりました。



令和元年度は、高機能消防指令センター整備事業に着手しました。

大規模災害ほか多様な災害にも対応でき、また将来性を見越した高機能なシステムの導入を目指し実施設計を行い、聴覚・言語機能障害者からの緊急通報に対応するための「Net119 緊急通報システム」、管内における国際的なイベント開催やインバウンド効果による外国人観光客の増加に対応するために「多言語三者同時通話機能」を導入しました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物や危険物施設の防火・保安体制確立
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 計画的かつ適正な資機材の保守管理
- (5) 風通しの良い職場づくり

2 令和元年度当初予算

令和元年度当初予算の総額は 946,567 千円で前年と比較すると 67,184 千円の減となっています。このうち人件費は 763,140 千円で歳出予算総額の 80.6%を占めています。また、



消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は 93,922 千円で 9.9%を占め、前年と比較すると 66,200 千円の減となっています。主な事業として、朝来消防署のポンプ車及び養父消防署の高規格救急車の更新、また救急隊の更なる技術向上のため高度救急訓練用人形の整備を行いました。

予 防

1 防火対象物の状況

令和元年度末の防火対象物は総数 3,115 棟で、市別では養父市 1,477 棟、朝来市 1,638 棟となっています。用途別では「その他の事業所」が 722 棟と最も多く約 23%を占めており、続いて「工場等」(507 棟)、「共同住宅等」(330 棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は 705 件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

令和元年度末の危険物施設数は総数 311 施設で、市別では養父市 160 施設、朝来市 151 施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が 93 施設と最も多く約 30%を占めており、続いて「一般取扱所」(57 施設)、「給油取扱所」(50 施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は 253 回で、全施設の約 81%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。

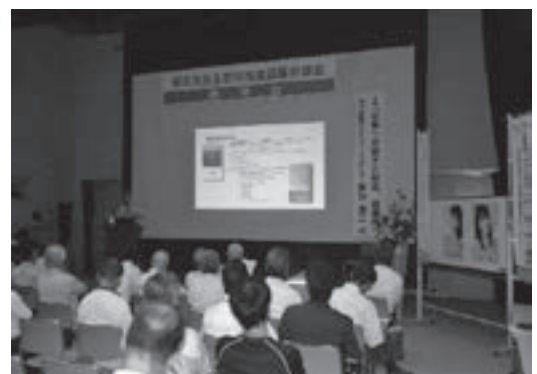


養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 養父小学校少年消防クラブ員礼式訓練の様子

(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火 災

令和元年中の出火件数は24件で、前年(26件)と比較すると2件の減少となっています。

火災種別で見ると、建物火災が9件、林野火災が2件、車両火災が1件、その他の火災が12件となっています。

地域別の発生状況を見ると、朝来市内の出火件数は11件で、その内訳は、建物火災が3件、車両火災が1件、その他の火災が7件となっています。

養父市内の出火件数は13件で、その内訳は、建物火災が6件、林野火災が2件、その他の火災が5件となっています。



火災の損害は94,585千円で、前年と比較すると57,196千円増額しています。

負傷者をみると、建物火災で3人、その他の火災で1人発生しています。

火災の状況

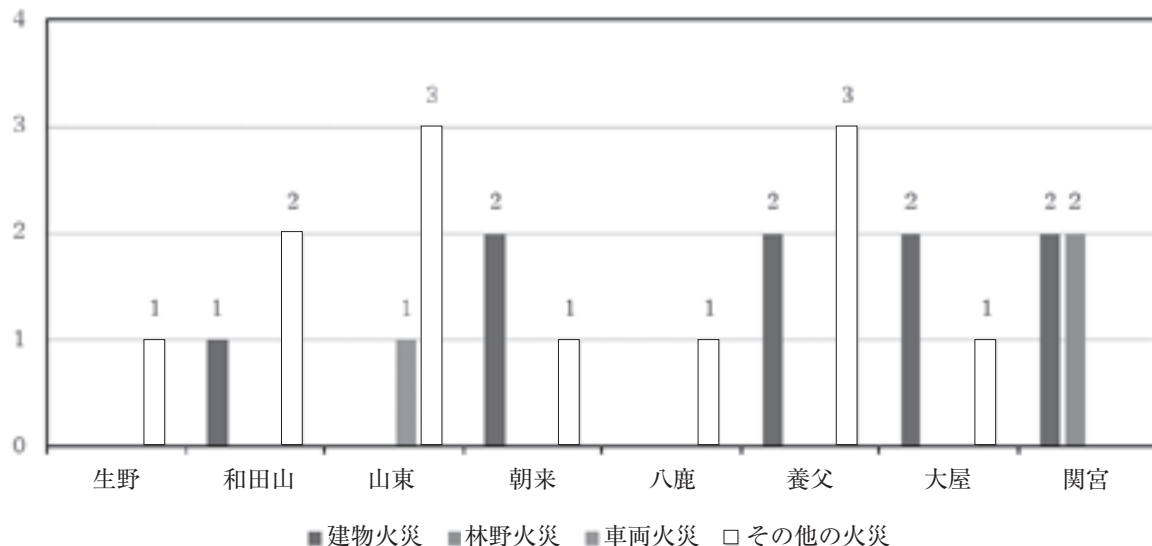
区 分		令 和 元 年	平 成 3 0 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	24	26	△2
	建 物 火 災	9	10	△1
	林 野 火 災	2		2
	車 両 火 災	1	3	△2
	そ の 他 の 火 災	12	13	△1
焼 損 棟 数	総 数	12	12	
	全 焼	4	3	1
	半 焼	3		3
	部 分 焼	4	1	3
	ぼ や	1	8	△7
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	1,923	1,019	904
	林 野 (a)	42		42
損 害 額 (千 円)	総 額	94,585	37,389	57,196
	建 物	64,972	34,810	30,162
	林 野	91		91
	車 両	25,889	2,514	23,375
	そ の 他	3,633	65	3,568
り 災 世 帯 数	13	5	8	
り 災 人 員	22	13	9	
死 者			2	△2
負 傷 者	4	6	△2	

地域別の状況

区 分		総数	朝 来 市					養 父 市				
			小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮
出 火 件 数	総 数	24	11	1	3	4	3	13	1	5	3	4
	建 物 火 災	9	3		1		2	6		2	2	2
	林 野 火 災	2						2				2
	車 両 火 災	1	1			1						
	その他の火災	12	7	1	2	3	1	5	1	3	1	
焼 損 棟 数	総 数	12	4		1		3	8		4	2	2
	全 焼	4	1		1			3		2		1
	半 焼	3	1				1	2		1	1	
	部 分 焼	4	2				2	2		1	1	
	ぼ や	1						1				1
焼損 面積	建 物 (㎡)	1,923	478		236		242	1,445		710	198	537
	林 野 (a)	42						42		2	34	6
損 害 額 (千 円)		94,585	28,337		18,260	2,501	7,576	66,248		48,327	4,411	13,510
り 災 世 帯 数		13	4		1		3	9			2	7
り 災 人 員		22	11		3		8	11			3	8
死 者												
負 傷 者		4						4		1		3

地域別・火災種別出火件数

(件)



救 急

令和元年中の救急件数は 3,079 件、搬送人員は 2,823 人で、前年（3,096 件、2,792 人）と比較すると件数で 17 件の減少、人員で 31 人の増加となっています。

事故種別で見ると、急病が 1,883 件で最も多く、次いで一般負傷 491 件、転院搬送 310 件、交通事故 222 件と続いています。

朝来市内の救急件数は 1,520 件、養父市内の救急件数は 1,559 件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野 223 件、和田山 809 件、山東 228 件、朝来 260 件となっており、養父市内は、八鹿 641 件、養父 415 件、大屋 264 件、関宮 239 件となっています。



救急の状況

区 分	令和元年		平成 30 年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	3,079	100	3,096	100	△ 17
火 災	1	0.1	5	0.2	△ 4
自然災害					
水難事故	1	0.1	1	0.1	
交通事故	222	7.2	210	6.8	12
労働災害	35	1.1	15	0.5	20
運動競技	12	0.4	20	0.6	△ 8
一般負傷	491	15.9	492	15.9	△ 1
加 害	1	0.1	9	0.3	△ 8
自損行為	10	0.3	25	0.8	△ 15
急 病	1,883	61.1	1,931	62.2	△ 48
転院搬送	310	10.0	265	8.6	45
そ の 他	113	3.7	123	4.0	△ 10

※その他とは、上記以外のもの。（例）医師搬送など。

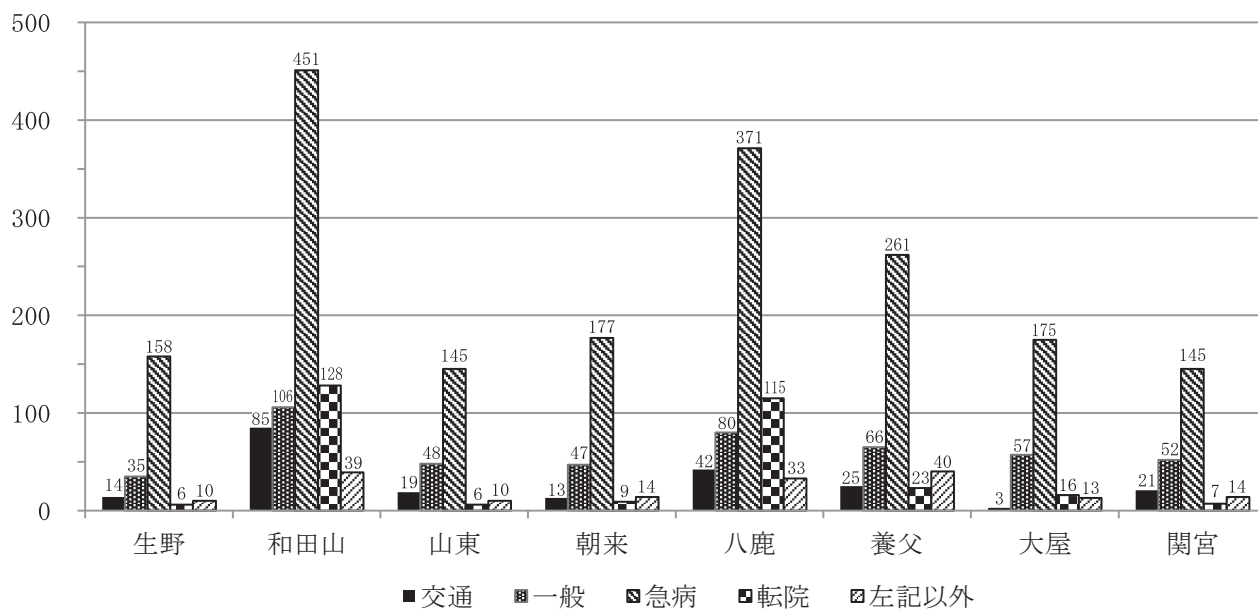
地域別の状況

(単位：件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	3,079	1,520	223	809	228	260	1,559	641	415	264	239	
火 災	1						1		1			
自然災害												
水難事故	1						1		1			
交通事故	222	131	14	85	19	13	91	42	25	3	21	
労働災害	35	15	3	6	3	3	20	4	9	5	2	
運動競技	12	4	1	2	1		8	1	4	1	2	
一般負傷	491	236	35	106	48	47	255	80	66	57	52	
加 害	1	1		1								
自損行為	10	6		5		1	4	2	1		1	
急 病	1,883	931	158	451	145	177	952	371	261	175	145	
転院搬送	310	149	6	128	6	9	161	115	23	16	7	
そ の 他	113	47	6	25	6	10	66	26	24	7	9	

地域別・事故種発生状況

(件)



救 助

令和元年中の救助件数は 52 件で、前年(63 件)と比較すると 11 件の減少となっています。

事故種別で見ると、交通事故が 27 件、水難事故が 2 件、建物等による事故が 2 件、機械による事故が 1 件、その他の事故が 20 件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内は生野 3 件、和田山 15 件、山東 5 件、朝来 3 件、養父市内は八鹿 3 件、養父 6 件、大屋 8 件、関宮 9 件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は 30 件で、31 人を救助しました。



救助の状況

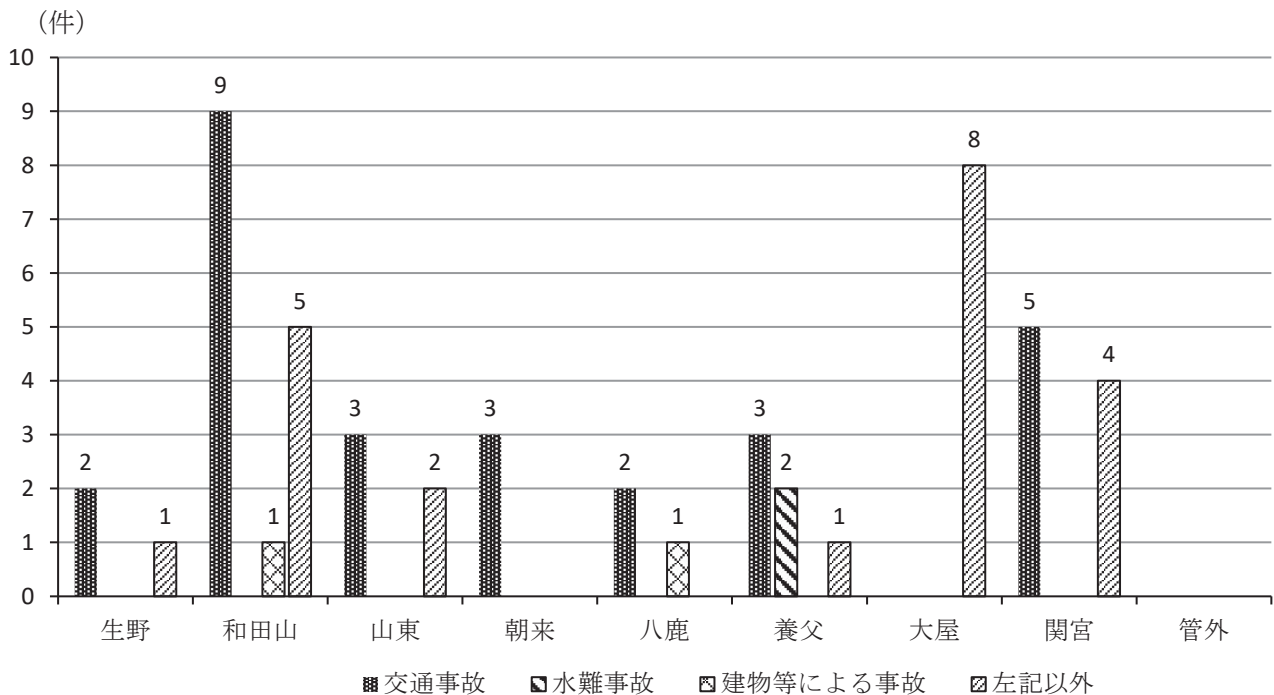
区 分	令和元年	平成 30 年	比較増減
	件 数	件 数	
総 数	52	63	△11
火 災		2	△ 2
交 通 事 故	27	24	3
水 難 事 故	2	2	
自 然 災 害		4	△ 4
機 械 に よ る 事 故	1		1
建 物 等 に よ る 事 故	2	5	△ 3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	20	26	△ 6

地域別の状況

(単位：件)

区分	総数	朝来市					養父市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	52	26	3	15	5	3	26	3	6	8	9	
火災												
交通事故	27	17	2	9	3	3	10	2	3		5	
水難事故	2						2		2			
自然災害												
機械による事故	1						1			1		
建物等による事故	2	1		1			1	1				
ガス及び酸欠事故												
破裂事故												
その他の事故	20	8	1	5	2		12		1	7	4	
救助活動件数	30	16	2	9	3	2	14		4	4	6	
救助人員	31	16	2	9	3	2	15		4	4	7	

地域別・事故種発生状況



通 信

令和元年中の119番受信件数は3,537件で、その内訳は緊急通報が2,797件、緊急外通報が740件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で42件、緊急外通報で120件の減少となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,278件で、前年と比較すると77件の減少となっています。



通信の状況

(単位：件)

区 分	平成 30 年	うち 携 帯 電 話	令 和 元 年	うち 携 帯 電 話	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
総 数	3,699	1,355	3,537	1,278	296	243	300	255	329	271	307	342	251	304	304	335	
緊 急 通 報	火災通報	23	12	18	10	1	1	2	7			4			2	1	
	救急通報	2,572	899	2,545	927	230	180	213	175	234	194	221	251	202	219	195	231
	病院照会	48	33	48	29	6	3	4	4	5	5	5	6	3	3	2	2
	台風関連 第2報等	149	91	155	102	11	6	11	13	25	9	12	17	7	13	10	21
	ガス漏検索 誤報等	47	13	31	8	1	1	3	3	2	2	5	3	3	2	5	1
	計	2,839	1,048	2,797	1,076	248	191	232	197	273	210	243	281	215	237	214	256
緊 急 外 通 報	通報訓練	304	15	345	24	19	23	29	17	28	36	26	21	16	29	56	45
	間 違 い	117	60	88	50	7	4	7	7	12	7	5	11	2	12	6	8
	いたずら	1															
	問 合 せ	111	53	62	33	4	5	4	6	2	6	6	9	4	8	4	4
	そ の 他	327	179	245	95	18	20	28	28	14	12	27	20	14	18	24	22
	計	860	307	740	202	48	52	68	58	56	61	64	61	36	67	90	79

統計資料編

管 理 編

管
理
編

令和元年度予算状況

(単位：千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比率 (%)
歳入	総計	946,567	△ 5,813	940,754	100.0
	分担金	862,061	△ 4,113	857,948	91.2
	使用料・手数料	901	0	901	0.1
	国県支出金	0	0	0	0.0
	繰入金	0	0	0	0.0
	繰越金	0	0	0	0.0
	地方債	80,700	△ 1,700	79,000	8.4
	諸収入他	2,905	0	2,905	0.3
歳出	総計	946,567	△ 5,813	940,754	100.0
	人件費	763,140	0	763,140	81.1
	物件費	76,201	△ 571	75,630	8.0
	建設事業費	93,922	△ 5,813	88,109	9.4
	維持補修費	4,280	567	4,847	0.5
	補助費等	9,024	4	9,028	1.0
	公債費	0	0	0	0.0

令和元年度職員給与費の実態

職員給与

(単位：千円)

職員数 (A)	令和元年度給与費				一人当たりの 給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
97	336,825	116,417	136,043	589,285	6,075

初任給の状況 (高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1級8号給	1級5号給	1級5号棒
金額	153,900	150,600	150,600

階級別勤続年数

(R2. 3. 31 現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	97	1	25	31	11	14	15
1 年 未 満	3						3
1 年 ～ 5 年	26				1	13	12
6 年 ～ 10 年	11			3	7	1	
11 年 ～ 15 年	10		1	7	2		
16 年 ～ 20 年	9			9			
21 年 ～ 25 年	12		4	8			
26 年 ～ 30 年	10		6	4			
31 年 ～ 35 年	6		6				
3 6 年 以 上	10	1	8		1		

年齢別職員構成

(R2. 3. 31 現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	97	1	25	31	11	14	15
2 0 歳 以 下	3						3
21 歳 ～ 25 歳	12					1	11
26 歳 ～ 30 歳	24				10	13	1
31 歳 ～ 35 歳	9			9			
36 歳 ～ 40 歳	8			8			
41 歳 ～ 45 歳	12			12			
46 歳 ～ 50 歳	11		9	2			
51 歳 ～ 55 歳	6		6				
5 6 歳 以 上	12	1	10		1		

研修派遣状況

(単位：人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	21	0	4	7	3	2	5
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	19		3	6	3	2	5
初 任 教 育	3						3
特 殊 災 害 科	1			1			
予 防 査 察 科	1				1		
火 災 調 査 科	1				1		
救 急 科	2						2
災 害 現 場 指 揮 科	1		1				
通 信 指 令 科	1		1				
初 級 幹 部 科	1			1			
救 急 救 命 士 養 成 課 程	2			2			
指 導 救 命 士 養 成 課 程	1			1			
救 急 救 命 士 追 加 講 習 (拡 大 二 行 為 追 加 講 習)	1					1	
惨 事 ス ト レ ス 研 修	1		1				
ポ ン プ 操 法 研 修	2			1	1		
山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	1					1	
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

階級別資格取得状況

(R2.3.31 現在)

資 格 \ 階 級		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	77	0	22	28	9	14	4
	普 通	97	1	25	31	11	14	15
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		1	0	0	1	0	0	0
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		81	1	23	27	10	12	8
消 防 設 備 士 (乙 種)		15	0	10	2	2	1	0
救 急 救 命 士 資 格		37	1	13	18	2	2	1
気 管 挿 管 認 定		33	1	12	18	1	1	0
薬 剤 投 与 認 定		35	1	12	18	2	2	0
応 急 手 当 指 導 員		97	1	25	31	11	14	15
救 助 隊 員 資 格 (1 号)		41	0	12	24	4	1	0
小 型 船 舶 操 縦 士		21	0	4	11	4	2	0
玉 掛 技 能 者		47	0	7	20	7	10	3
移 動 式 ク レ ー ン		48	0	7	20	7	10	4
安 全 衛 生 推 進 者		4	0	4	0	0	0	0
予 防 技 術 資 格 者		13	0	6	5	2	0	0

平成 30 年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位：千円)

科 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B - A)
歳 入 合 計	1,021,368	1,021,368	0
分担金及び負担金	863,681	863,160	△ 521
使用料・手数料	901	1,203	302
地 方 債	142,400	142,400	0
繰 越 金	12,570	12,570	0
諸 収 入	1,816	2,035	219

(歳出)

科 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	比較 (A - B)
歳 出 合 計	1,021,368	1,013,092	8,276
常 備 消 防 費	854,629	846,597	8,032
消 防 施 設 費	166,739	166,495	244

歳 入 総 額 1,021,368 千円

歳 出 総 額 1,013,092 千円

歳入歳出差引残額 8,276 千円

消防相互応援協定の締結状況

(令和2年3月31日現在)

締結年月日	内 容
平成 25 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 25 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成 29 年 1 月 13 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 29 年 3 月 25 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)
平成 31 年 3 月 26 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

(R2. 3. 31現在)

用途別	防火対象物									3階以上対象物									
	総数	朝来市				養父市				総数	朝来市				養父市				
		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	3,115	215	920	279	224	629	341	250	257	394	28	123	25	13	112	25	8	60	
1	イ映画館等	2	1	1						2	1	1							
	ロ集会場等	190	9	38	23	20	32	20	20	28	7		4		1	1	1		
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	3		2			1												
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	68	2	25	7	2	8	14	4	6	4		1	1		2			
4	店舗等	145	6	71	10	13	18	19	2	6	6		4		2				
5	イ旅館・ホテル等	123	5	16	11	7	8	4	6	66	51		8	1		1	1	1	39
	ロ共同住宅等	330	26	149	31	18	55	35	6	10	86	8	27	10	1	27	8		5
6	イ病院等	44	2	17	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ログループホーム等	41	3	7	6	7	4	4	8	2	4		1		1	1		1	
	ハデイサービス・保育所	98	7	23	12	11	21	13	9	2	2				1	1			
	ニ幼稚園等	6		5		1					2		2						
7	学校等	107	18	17	7	6	44	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図書館等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	95	12	9	3	2	20	24	11	14	1	1							
12	イ工場等	507	39	161	52	43	98	56	34	24	24	6	4	1	1	6	3		3
	ロ映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ駐車場等	44	1	12	4	6	11	3	2	5									
14	倉庫	268	25	88	30	16	60	24	12	13	9	1	1	2		5			
15	その他の事業所	722	41	172	57	49	153	79	116	55	71	3	25	5	1	20	7	4	6
16	イ複合用途（特定）	159	2	58	10	5	49	17	7	11	46	1	19	2	1	20	1	1	1
	ロ複合用途（非特定）	109	6	43	6	4	25	14	4	7	30	1	11	1	1	13	1		2
17	文化財建造物	25	3	1	6	6	7	1		1	1				1				

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

(R2.3.31現在)

用途別	査察件数			防火管理者									消防計画						
				対象数			選任数			選任率(%)			計画届出数			届出率(%)			
	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	
総数	705	391	314	797	395	402	725	360	365	91	91	91	702	356	346	88	90	86	
1	イ映画館等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ集会場等	32	17	15	177	84	93	119	55	64	67	65	69	115	55	60	65	65	65
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	4	3	1	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	62	48	14	56	28	28	53	26	27	95	93	96	50	25	25	89	89	89
4	店舗等	77	64	13	93	58	35	92	58	34	99	100	97	91	57	34	98	98	97
5	イ旅館・ホテル等	116	35	81	85	19	66	85	19	66	100	100	100	84	18	66	99	95	100
	ロ共同住宅等	3	1	2	16	10	6	15	10	5	94	100	83	15	10	5	94	100	83
6	イ病院等	27	10	17	17	12	5	17	12	5	100	100	100	17	12	5	100	100	100
	ログループホーム等	40	23	17	27	16	11	27	16	11	100	100	100	27	16	11	100	100	100
	ハデイサービス・保育所	54	7	47	65	32	33	63	32	31	97	100	94	63	32	31	97	100	94
	ニ幼稚園等	5	5		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学校等	4	4		34	17	17	34	17	17	100	100	100	34	17	17	100	100	100
8	図書館等	7	5	2	11	8	3	11	8	3	100	100	100	10	8	2	91	100	67
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	3		3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神社・寺院等	37	33	4	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ工場等	69	40	29	29	22	7	27	21	6	93	95	86	26	21	5	90	95	71
	ロ映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ駐車場等	3	1	2															
14	倉庫	14	6	8	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
15	その他の事業所	68	32	36	83	36	47	80	34	46	96	94	98	76	33	43	92	92	91
16	イ複合用途(特定)	49	36	13	76	37	39	74	36	38	97	97	97	67	36	31	88	97	79
	ロ複合用途(非特定)	5	3	2	7	4	3	7	4	3	100	100	100	6	4	2	86	100	67
17	文化財建造物	24	16	8	2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100

確認申請処理状況

(R2.3.31現在)

種 別	総数	朝来市		養父市		同意	指導による 同意		朝来市		養父市		不同意	朝来市		養父市	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市					
総 数	33	27	6	6	6	6		27	21	6							
《工 事 別》																	
新 築	26	21	5	6	6			20	15	5							
増 築	7	6	1					7	6	1							
改 築																	
移 転																	
修 繕																	
模 様 替																	
用途変更																	
《構 造 別》																	
耐 火 構 造	3	2	1					3	2	1							
準耐火構造	10	9	1	3	3			7	6	1							
そ の 他	20	16	4	3	3			17	13	4							

消防教室実施状況

(R2.3.31現在)

実 施 区 分	対 象 数			参 加 人 員			時 間			消 防 職 員			
	総数	朝来	養父	総数	朝来	養父	全体	朝来	養父	総数	朝来	養父	
総 数	229	125	104	9,966	5,303	4,663	270:45	145:55	124:50	671	400	271	
地 区	24	15	9	1,202	690	512	23:25	13:45	9:40	50	29	21	
婦 人 ク ラ ブ	5		5	33		33	7:45		7:45	6		6	
老 人 ク ラ ブ													
P T A	18	10	8	719	386	333	26:20	13:05	13:15	39	22	17	
学 校	64	30	34	4,359	1,924	2,435	93:00	47:15	45:45	294	170	124	
幼・保育所	32	24	8	1,300	959	341	37:00	29:30	7:30	102	69	33	
事 業 所	公 共 施 設	12	7	5	340	274	66	10:25	5:45	4:40	24	16	8
	病 院・福 祉 施 設	33	16	17	1,151	525	626	29:15	11:35	17:40	62	33	29
	旅 館・ホ テ ル	6	2	4	82	20	62	8:00	2:00	6:00	13	4	9
	店 舗 等	9	6	3	230	173	57	6:45	4:30	2:15	20	14	6
	工 場 等	17	11	6	411	268	143	16:50	11:00	5:50	34	24	10
消 防 団													
そ の 他	9	4	5	139	84	55	12:00	7:30	4:30	27	19	8	

※ 普通救命講習会は含まない。(57頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

(R2.3.31現在)

危険物施設	総数	朝来市					養父市					立入検査回数		
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	朝来署	養父署	
総数	311	151	37	66	28	20	160	65	27	12	56	133	120	
製造所	3	2	2				1		1			2	1	
貯蔵所	屋内貯蔵所	34	20	8	8	3	1	14	9	2	2	1	2	3
	屋外タンク貯蔵所	34	26	10	8	5	3	8	3			5	13	4
	屋内タンク貯蔵所	15	5	3	1	1		10	7	1		2		1
	地下タンク貯蔵所	93	30	3	17	6	4	63	15	8	3	37	34	55
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1							1	
	移動タンク貯蔵所	20	11	1	2	3	5	9	5	3		1	10	9
	屋外貯蔵所	4	4	2	2								4	
取扱所	給油取扱所	50	22	2	12	5	3	28	15	6	3	4	35	28
	一般取扱所	57	30	6	16	4	4	27	11	6	4	6	32	19

危険物施設設置許可及び変更許可の状況

(R2.3.31現在)

危険物施設	総数	変更許可										設置許可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他		朝来市	養父市
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市		
総数	30	2	1	8	2	1	2	4	6	2		1	1
製造所	2				1			1					
屋内貯蔵所	1											1	
屋外タンク貯蔵所	2					1	1						
屋内タンク貯蔵所													
地下タンク貯蔵所	6						1		5				
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	2									2			
屋外貯蔵所													
給油取扱所	7		1	2	1			2					1
一般取扱所	10	2		6				1	1				

市別・数量別危険物施設数

(R2.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以下		5倍を超え 10倍以下		10倍を超え 50倍以下		50倍を超え 100倍以下		100倍を超え 200倍以下		200倍を超 えるもの	
		朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市
総 数	311	70	48	31	38	29	54	4	8	10	8	7	4
製 造 所	3					1		1	1				
貯 蔵 所	201	54	33	21	32	19	36	1	3	2			
屋内貯蔵所	34	12	5	5	5	2	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	34	7	2	6		11	6	1		1			
屋内タンク貯蔵所	15	2	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	93	19	13	7	21	4	28		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	20	11	9										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取 扱 所	107	16	15	10	6	9	18	2	4	8	8	7	4
給油取扱所(営業用)	32		1					1	3	8	8	7	4
給油取扱所(自家用)	18	3			2	3	10						
一 般 取 扱 所	57	13	14	10	4	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(R2.3.31現在)

危険物施設	総 数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市	朝 来市	養 父市
総 数	311				1			149	155	1	2			1	2
製 造 所	3							2							1
貯 蔵 所	201				1			96	101		2			1	
屋内貯蔵所	34				1			19	11		2			1	
屋外タンク貯蔵所	34							26	8						
屋内タンク貯蔵所	15							5	10						
地下タンク貯蔵所	93							30	63						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	20							11	9						
屋外貯蔵所	4							4							
取 扱 所	107							51	54	1					1
給油取扱所(営業用)	32							16	16						
給油取扱所(自家用)	18							6	12						
一 般 取 扱 所	57							29	26	1					1

各種届出等受理状況

(R2. 3. 31現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任（解任）届出書		150	89	61
消防計画届出書		200	124	76
消防用設備等着工届出書		53	33	20
消防用設備等工事計画届出書		33	21	12
消防用設備等設置届出書		168	119	49
消防用設備等緩和願		1	1	
消防用設備等点検結果報告書		599	318	281
防火対象物定期点検結果報告書		55	31	24
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		77	51	26
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉			
	炉・かまど	2	2	
	ボイラー・給湯湯沸設備	16	7	9
	乾燥設備	3	1	2
	サウナ設備			
	温風暖房機	3		3
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	22	16	6
	発電設備	9	7	2
	蓄電池設備	4	2	2
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		3	3	
総 数		1, 398	825	573

警 防 編

年次別火災発生状況

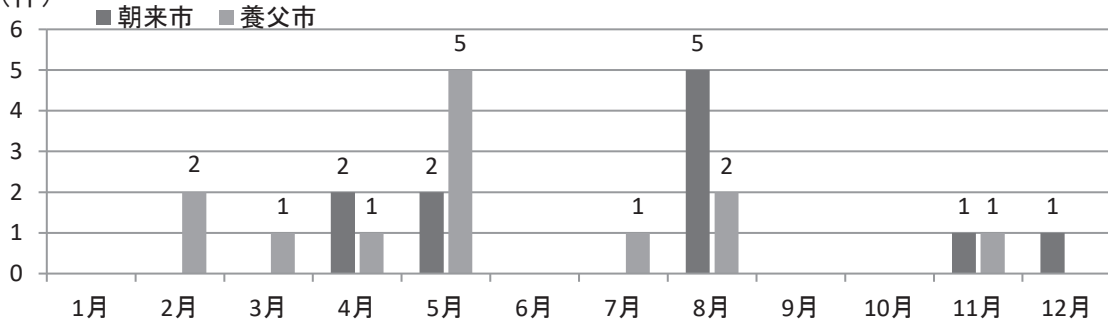
区 分		年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出 火 件 数	総 数		31	29	20	26	24
	朝 来 市	小 計	18	19	10	21	11
		建 物 火 災	9	6	6	8	3
		林 野 火 災	1	1	1		
		車 両 火 災	1	2	1	2	1
		その他の火災	7	10	2	11	7
	養 父 市	小 計	13	10	10	5	13
		建 物 火 災	8	3	8	2	6
		林 野 火 災		1			2
		車 両 火 災	1	1		1	
その他の火災		4	5	2	2	5	
焼 損 棟 数	総 数		26	10	17	12	12
	朝 来 市	小 計	10	7	8	10	4
		全 焼	3	3	3	3	1
		半 焼			1		1
		部 分 焼	5	2	1	1	2
		ぼ や	2	2	3	6	
	養 父 市	小 計	16	3	9	2	8
		全 焼	8		2		3
		半 焼	1				2
		部 分 焼	4		3		2
ぼ や		3	3	4	2	1	
焼 損 面 積	総 数	建物【㎡】	5,824	652	633	1,019	1,923
		林野 (a)	3	34	13		42
	朝 来 市	建物【㎡】	4,001	652	317	1,019	478
		林野 (a)	3	10	13		
	養 父 市	建物【㎡】	1,823		316		1,445
	林野 (a)		24			42	

区 分		年 別		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
		総 数		12	8	6	5	13
り 災 世 帯	朝 来 市	小 計	2	5	2	5	4	
		全 損	1	2	1	2	1	
		半 損						
		小 損	1	3	1	3	3	
	養 父 市	小 計	10	3	4		9	
		全 損	3		1		5	
		半 損					1	
		小 損	7	3	3		3	
り 災 人 員	総 数		32	11	17	13	22	
	朝 来 市		4	7	5	13	11	
	養 父 市		28	4	12		11	
損 害 額 (千円)	総 額		440,766	27,232	80,592	37,389	94,585	
	朝 来 市	小 計	403,435	25,851	65,116	37,341	28,337	
		建 物	401,050	25,612	11,156	34,801	25,836	
		林 野			238			
		車 両	2,384	238	53,068	2,475	2,500	
		そ の 他	1	1	654	65	1	
	養 父 市	小 計	37,331	1,381	15,476	48	66,248	
		建 物	37,079	28	15,476	9	39,136	
		林 野		440			91	
		車 両	250	870		39	23,389	
そ の 他		2	43			3,632		
死 傷 者	総 数	死 者	4	1	1	2		
		負 傷 者	7	3	8	6	4	
	朝 来 市	死 者		1		2		
		負 傷 者	4	2		5		
	養 父 市	死 者	4		1			
		負 傷 者	3	1	8	1	4	

月別火災発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		24		2	1	3	7		1	7			2	1
朝来市	小計	11				2	2			5			1	1
	建物火災	3					1						1	1
	林野火災													
	車両火災	1				1								
	その他の火災	7				1	1			5				
養父市	小計	13		2	1	1	5		1	2			1	
	建物火災	6		2			2		1				1	
	林野火災	2					2							
	車両火災													
	その他の火災	5			1	1	1			2				

(件)

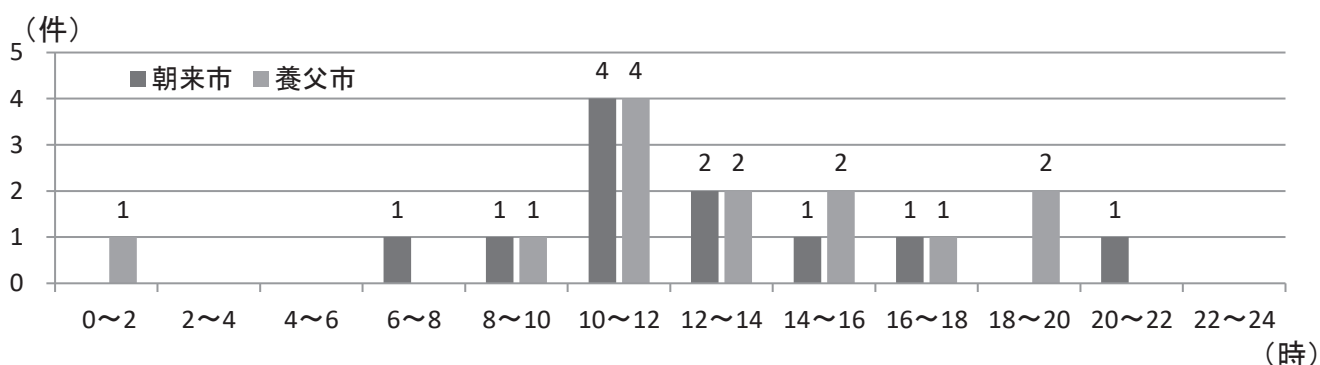


曜日別火災発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		24	4	6	1	4	2	4	3
朝来市	小計	11	1	5		2	1	1	1
	建物火災	3		2			1		
	林野火災								
	車両火災	1						1	
	その他の火災	7	1	3		2			1
養父市	小計	13	3	1	1	2	1	3	2
	建物火災	6	1			1	1	3	
	林野火災	2		1					1
	車両火災								
	その他の火災	5	2		1	1			1

時間別火災発生状況

種別	時間別	時間別												
		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		24	1			1	2	8	4	3	2	2	1	
朝来市	小計	11				1	1	4	2	1	1		1	
	建物火災	3				1		1	1					
	林野火災													
	車両火災	1								1				
	その他の火災	7					1	3	1		1		1	
養父市	小計	13	1				1	4	2	2	1	2		
	建物火災	6	1				1		1		1	2		
	林野火災	2						1		1				
	車両火災													
	その他の火災	5						3	1	1				



使用した消防水利

消防水利	令和元年				平成30年	
	総数	建物火災	林野火災	車両火災		その他の火災
総数	19	7	2	1	9	16
自然水利	3		1		2	1
防火水槽	2	1	1			4
消火栓	10	5			5	8
積載水等	4	1		1	2	3

(事後聞知3件及び、放水なしの2件は除く)

覚知から現場到着までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平均(分)
		総 数	21		3	15	1	2
朝 来 市	小 計	10		2	8			12.1
	生 野							
	和田山	3		1	2			12
	山 東	4			4			12.5
	朝 来	3		1	2			11.7
養 父 市	小 計	11		1	7	1	2	17.5
	八 鹿	1			1			13
	養 父	5		1	4			12
	大 屋	2			2			14
	関 宮	3				1	2	30.7

(事後聞知3件を除く)

放水開始から鎮火までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分 以内	6分～ 10分	11分～ 20分	21分～ 30分	31分～ 40分	41分～ 50分	51分～ 60分	61分 以上	平均 (分)
		総 数	19	4	4		1	2	1	1	6
朝 来 市	小 計	9	2	2		1	2	1		1	24.1
	生 野										
	和田山	3	1				1			1	33
	山 東	3	1	2							6
	朝 来	3				1	1	1			34
養 父 市	小 計	10	2	2					1	5	71.4
	八 鹿	1	1								3
	養 父	4		1					1	2	72
	大 屋	2								2	130
	関 宮	3	1	1						1	54

(事後聞知3件及び、放水なしの2件は除く)

出 火 原 因

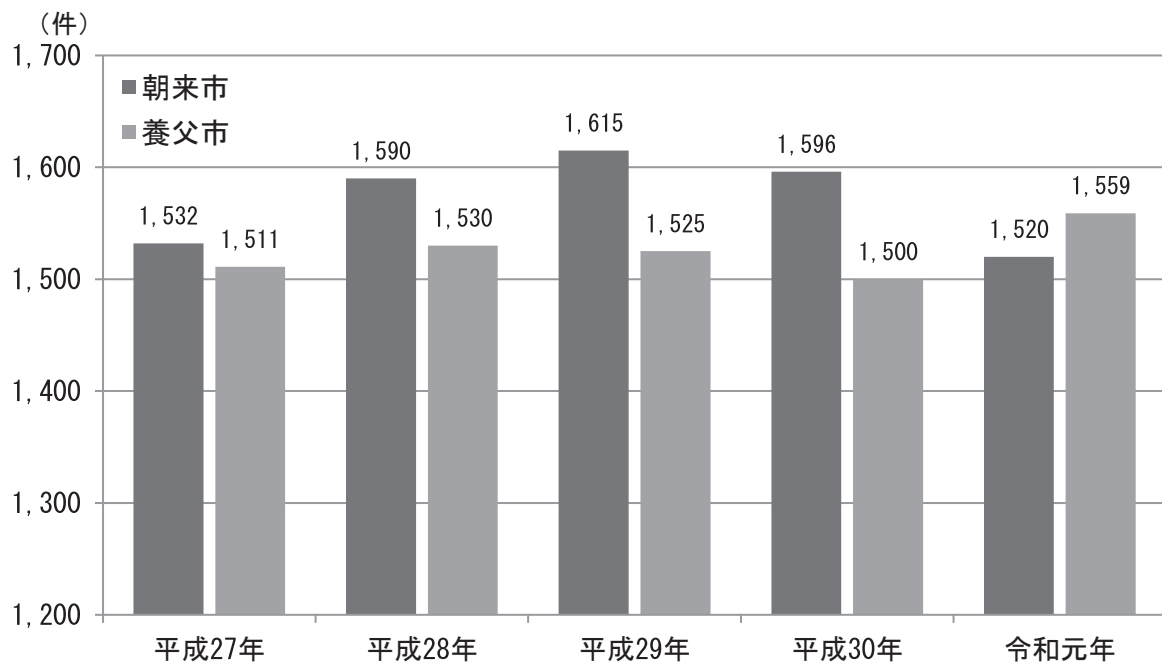
区 分		令 和 元 年					平 成 30 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		24	9	2	1	12	26	10		3	13
裸 火	た ば こ						1				1
	虫 焼 火										
	焼 却 火	10	1	1		8	12				12
	マ ッ チ										
	線 香						1	1			
人 的	火 あ そ び										
	放 火 (放 火 の 疑 い)										
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ										
	こ ん ろ	1	1								
	石 油 機 器										
	ガ ス 機 器						2	1		1	
	そ の 他						1	1			
電 気 関 係	電 気 溶 断 器	1	1								
	こ ん ろ	1	1								
	制 御 盤						1	1			
	乾 燥 機	1	1								
車 両	ブ レ ー キ										
	エ ン ジ ン										
	排 気 管										
	そ の 他	1			1		1			1	
そ の 他	取 灰	1	1								
	煙 突						1	1			
	か ま ど						1	1			
	焼 却 炉	1				1					
	自 作 の 炉										
	不 明	7	3	1		3	5	4		1	
	そ の 他										

用途別火災発生状況

用途別	区分	火災発生件数 (件)	焼損面積		損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	死傷者	
			建物				死者 (人)	負傷者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総数		24	1,923	11	94,585	12		4
建築物火災	住宅	3	434	3	22,659	3		
	遊技場							
	飲食店							
	店舗							
	旅館・ホテル							
	病院・福祉施設							
	学校							
	神社・寺院							
	工場・作業場	3	952	2	52,234	5		
	倉庫							
	車庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
その他	3	537	2	13,541	3		3	
林野火災		2			5			
車両火災		1			2,500			
その他の火災	畑	4			52			1
	空地	2						
	公園							
	河川敷							
	その他	6		4	3,594	1		

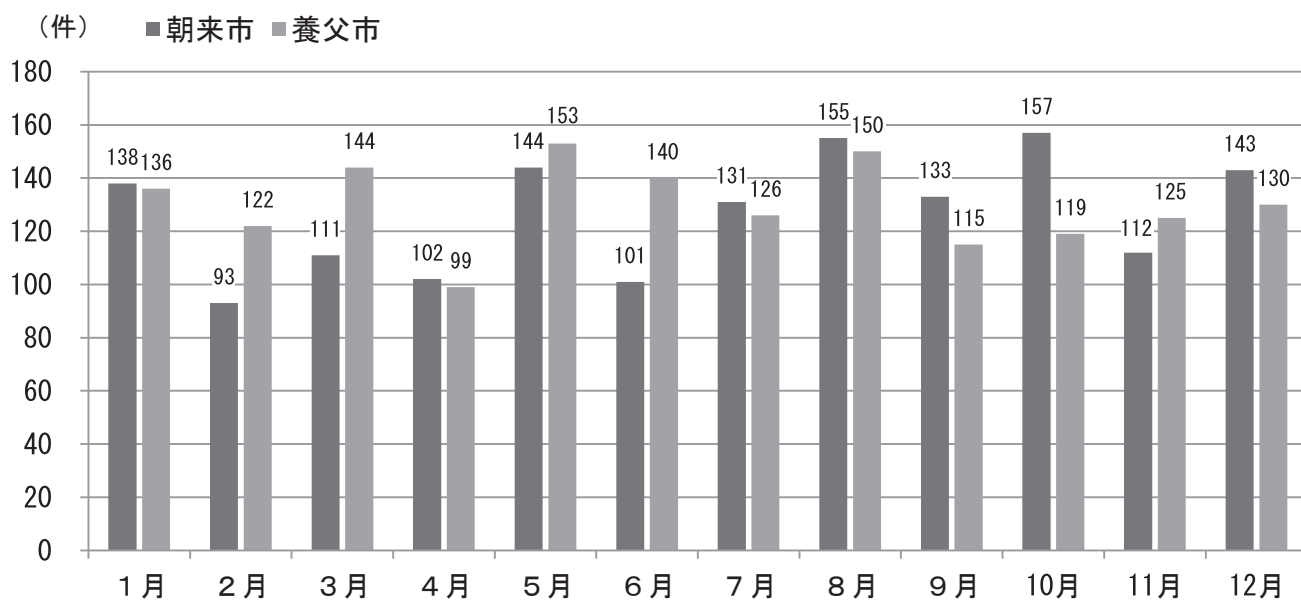
年次別救急発生状況

種 別		年 別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総 数		3,046	3,123	3,144	3,096	3,079
朝 来 市	小 計	1,532	1,590	1,615	1,596	1,520
	交通事故	155	140	135	97	131
	一般負傷	262	250	262	235	236
	急 病	898	997	997	1,046	931
	転院搬送	136	102	112	111	149
	そ の 他	81	101	109	107	73
養 父 市	小 計	1,511	1,530	1,525	1,500	1,559
	交通事故	110	122	79	113	91
	一般負傷	240	241	281	257	255
	急 病	845	869	836	885	952
	転院搬送	204	203	203	154	161
	そ の 他	112	95	126	91	100
管 外		3	3	4		



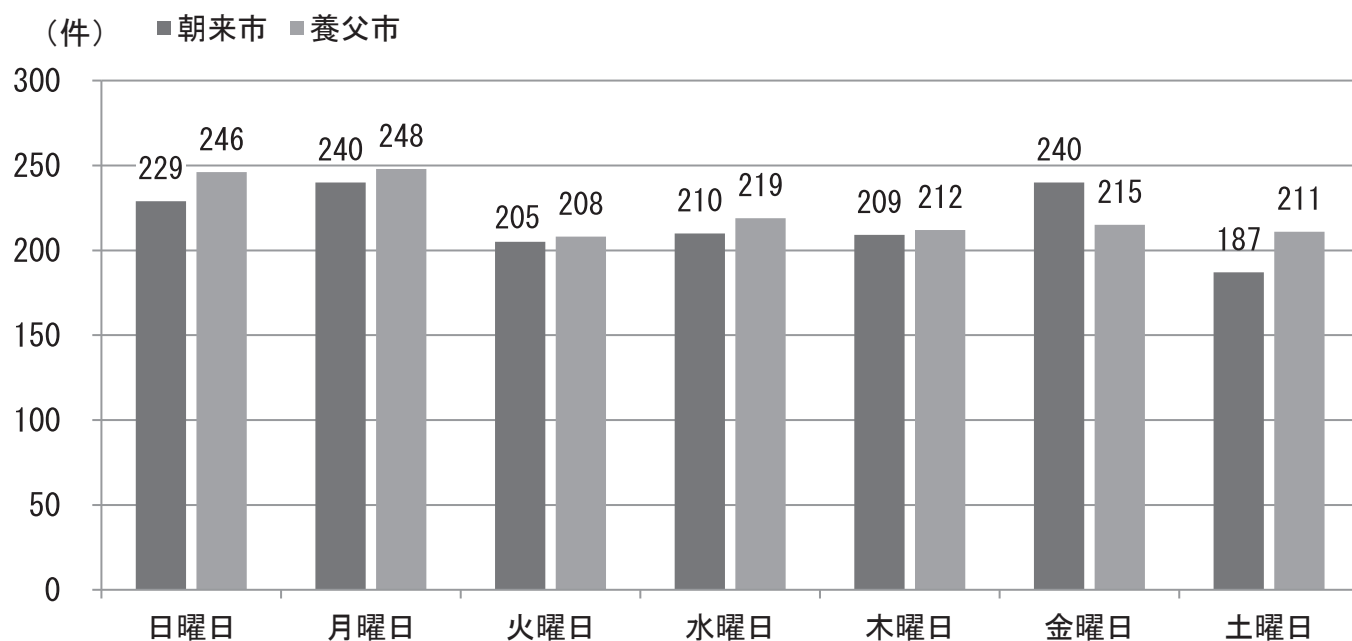
月別救急発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		3,079	274	215	255	201	297	241	257	305	248	276	237	273
朝来市	小計	1,520	138	93	111	102	144	101	131	155	133	157	112	143
	交通事故	131	5	5	15	13	21	7	5	16	13	13	9	9
	一般負傷	236	23	8	22	14	19	13	16	24	33	23	17	24
	急病	931	89	65	58	64	81	65	90	95	67	94	71	92
	転院搬送	149	15	10	8	8	16	11	15	12	12	20	11	11
	その他	73	6	5	8	3	7	5	5	8	8	7	4	7
養父市	小計	1,559	136	122	144	99	153	140	126	150	115	119	125	130
	交通事故	91	2	5	15	6	12	11	4	6	2	10	14	4
	一般負傷	255	34	23	14	11	24	18	18	32	30	15	18	18
	急病	952	81	72	97	69	85	88	84	87	56	80	68	85
	転院搬送	161	14	12	12	8	19	14	11	14	18	8	16	15
	その他	100	5	10	6	5	13	9	9	11	9	6	9	8
管外	小計													



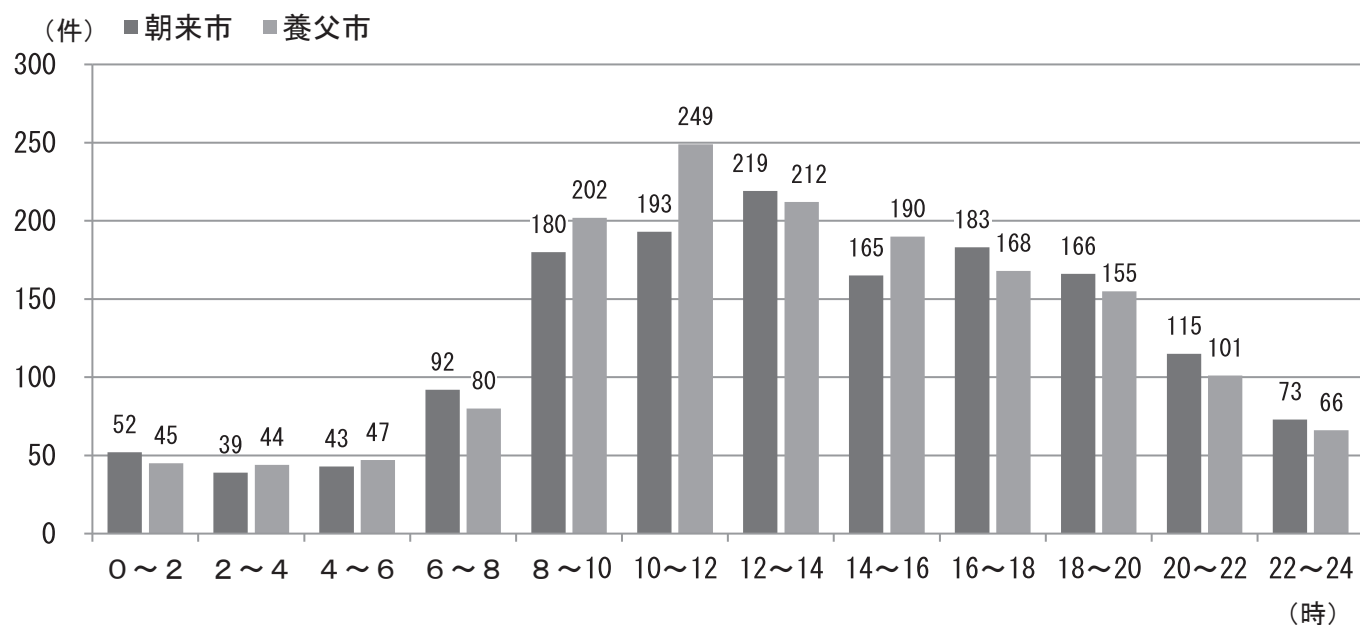
曜日別救急発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		3,079	475	488	413	429	421	455	398
朝来市	小計	1,520	229	240	205	210	209	240	187
	交通事故	131	9	27	24	24	18	15	14
	一般負傷	236	41	42	24	28	33	34	34
	急病	931	160	134	124	121	133	148	111
	転院搬送	149	8	23	27	26	13	34	18
	その他	73	11	14	6	11	12	9	10
養父市	小計	1,559	246	248	208	219	212	215	211
	交通事故	91	16	11	1	19	8	20	16
	一般負傷	255	52	31	44	22	35	40	31
	急病	952	156	168	121	127	133	113	134
	転院搬送	161	6	24	29	30	24	28	20
	その他	100	16	14	13	21	12	14	10
管外	小計								



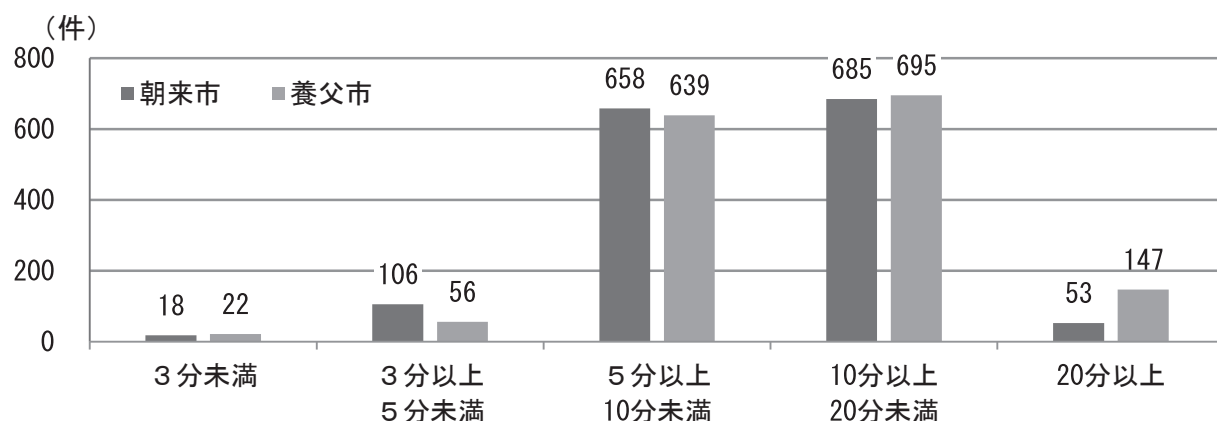
時間別救急発生状況

種別	時間別	総数	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
総数		3,079	97	83	90	172	382	442	431	355	351	321	216	139
朝来市	小計	1,520	52	39	43	92	180	193	219	165	183	166	115	73
	交通事故	131	3	1	1	15	9	14	11	25	16	24	7	5
	一般負傷	236	4	4	6	17	27	26	40	27	35	25	15	10
	急病	931	44	33	35	58	120	96	119	83	101	100	87	55
	転院搬送	149		1		2	12	45	34	17	20	12	4	2
	その他	73	1		1		12	12	15	13	11	5	2	1
養父市	小計	1,559	45	44	47	80	202	249	212	190	168	155	101	66
	交通事故	91	3			5	9	16	17	17	15	6	2	1
	一般負傷	255	7	6	10	13	34	42	32	30	33	24	16	8
	急病	952	34	36	36	59	126	120	115	105	86	109	75	51
	転院搬送	161	1	2	1	3	16	46	29	14	21	16	7	5
	その他	100					17	25	19	24	13		1	1
管外	小計													



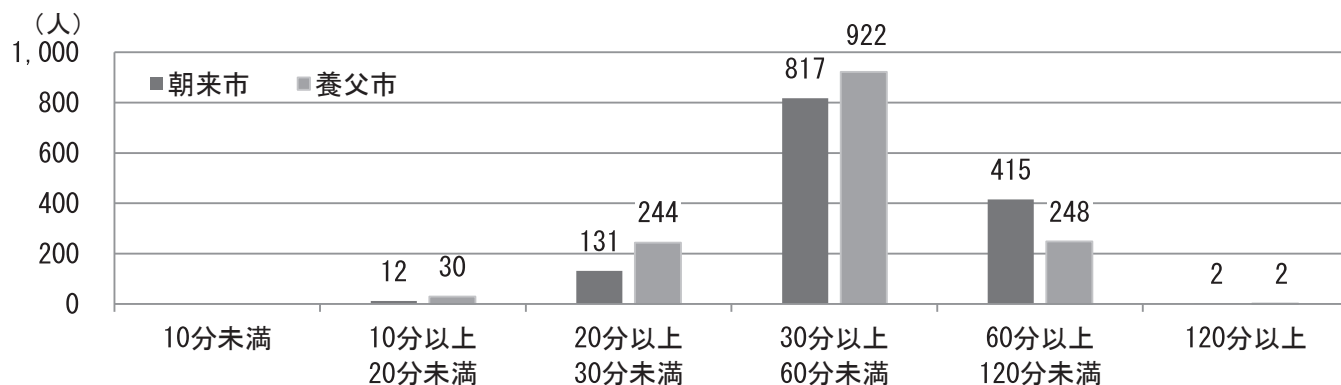
覚知から現場到着までの所要時間状況

発生場所別	時間	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総数		3,079	40	162	1,297	1,380	200	10.7
朝来市		1,520	18	106	658	685	53	9.9
養父市		1,559	22	56	639	695	147	11.5
管外								



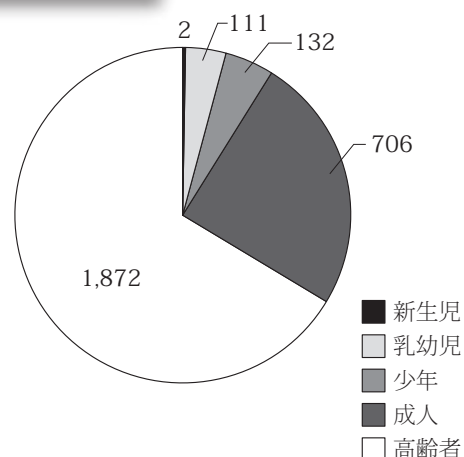
覚知から医療機関収容までの所要時間状況

発生場所別	時間	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数		2,823		42	375	1,739	663	4	48.2
朝来市		1,377		12	131	817	415	2	51.5
養父市		1,446		30	244	922	248	2	45.0
管外									



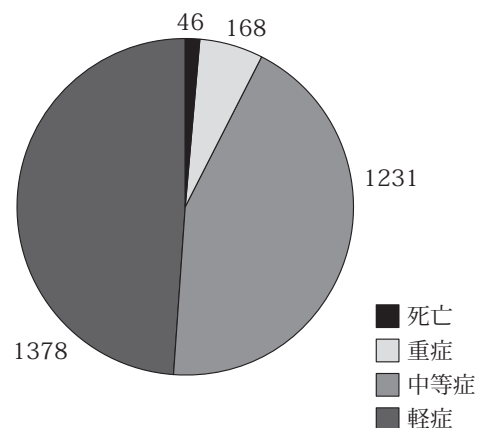
年齢区分別搬送人員

区分 種別	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総数	2,823	2	111	132	706	1,872
交通事故	209		9	15	128	57
一般負傷	464		18	31	79	336
急病	1,790		81	70	393	1,246
転院搬送	308	2	3	7	75	221
その他	52			9	31	12



傷病程度別搬送人員

区分 種別	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,823	46	168	1,231	1,378	
交通事故	209	2	10	53	144	
一般負傷	464	5	43	178	238	
急病	1,790	38	104	724	924	
転院搬送	308		9	255	44	
その他	52	1	2	21	28	



※ 死亡…初診時、死亡と診断されたもの
 重症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの

救急隊の行った主な応急処置状況

処置 種別	固定	酸素吸入	心肺蘇生	血圧測定	血中酸素	心電図	除細動	静脈路確保	薬剤投与	器具による 気道確保
総数	380	784	74	2,677	2,727	2,579	11	87	36	62
交通事故	176	74	4	197	200	165	2	5	2	2
一般負傷	149	76	13	444	450	396		11	5	14
急病	28	515	56	1,688	1,724	1,691	9	71	29	45
その他	27	119	1	348	353	327				1

事故種別・収容医療機関状況

種 別		総 数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急 病	転院搬送	その他	
医療機関									
総 数		2,823	100	209	464	1,790	308	52	
管内	小 計	1,277	45.2	63	306	812	81	15	
	病 院	八 鹿 病 院	1,032	36.5	46	208	697	71	10
		朝来医療センター	235	8.3	16	97	108	9	5
		その他の病院	3	0.1			3		
	診 療 所 等	6	0.2	1	1	4			
	そ の 他	1	0.1				1		
管 外	小 計	1,546	54.8	146	158	978	227	37	
	病 院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,416	50.1	142	137	899	202	36
		神崎総合病院	70	2.5	4	17	46	2	1
		その他の病院	59	2.1		4	32	23	
	診 療 所 等	1	0.1			1			

地域別・収容医療機関状況

市 別		総 数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管 外
医療機関							
総 数		2,823	1,377	100	1,446	100	
朝来市内医療機関	小 計	240	220	16.0	20	1.4	
	朝来医療センター	235	216	15.7	19	1.3	
	その他の病院	2	1	0.1	1	0.1	
	診 療 所 等	3	3	0.2		0.0	
	そ の 他			0.0		0.0	
養父市内医療機関	小 計	1,037	367	26.7	670	46.3	
	八 鹿 病 院	1,032	366	26.6	666	46.0	
	その他の病院	1		0.0	1	0.1	
	診 療 所 等	3	1	0.1	2	0.1	
	そ の 他	1		0.0	1	0.1	
管 外	小 計	1,546	790	57.3	756	52.3	
	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,416	672	48.8	744	51.5	
	神崎総合病院	70	70	5.0		0.0	
	その他の病院	57	47	3.4	10	0.7	
	診 療 所 等	3	1	0.1	2	0.1	

ドクターヘリ・ドクターカー月別出動状況

月別 \ 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,538	140	110	125	115	140	116	138	155	114	133	111	141
交通事故	103	6	3	11	12	16	4	4	12	8	12	8	7
一般負傷	147	17	10	7	11	11	8	11	17	19	10	15	11
急病	1,230	115	89	103	86	110	101	116	117	84	105	83	121
転院搬送	27	2	3	2	4	1	2	3	3	1	3	1	2
その他	31	0	5	2	2	2	1	4	6	2	3	4	0

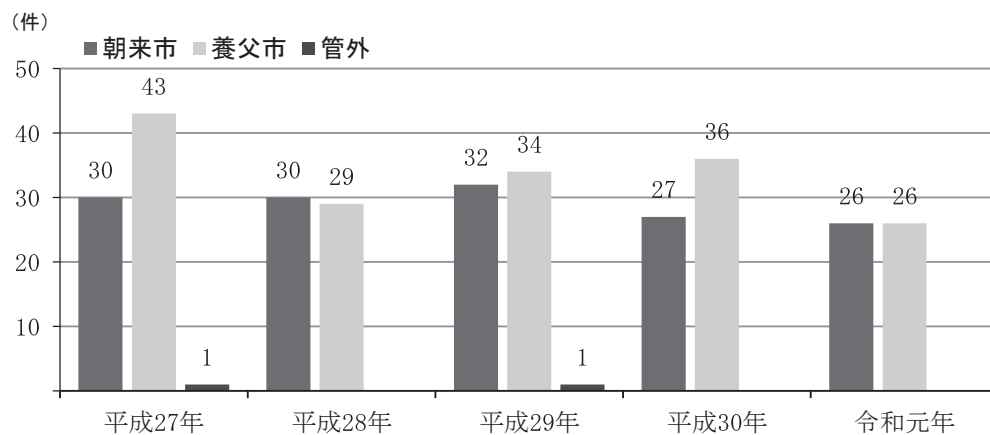
普通救命講習実施状況

区分	実施回数(回)	受講者数(人)
学校関係	11	215
事業所等	13	163
消防団	7	174
その他	14	123
総数	45	675



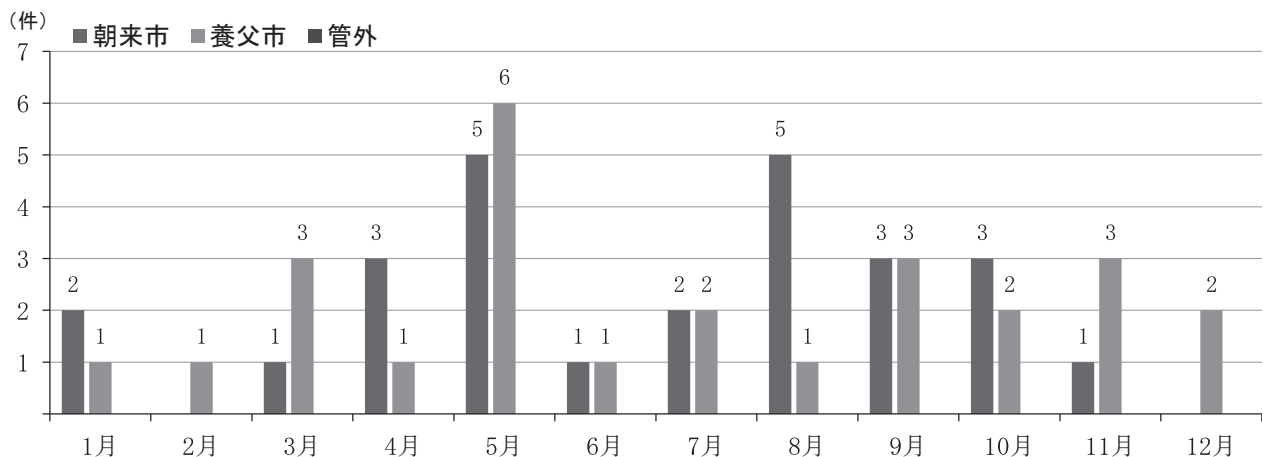
年次別救助発生状況

種 別		年 別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総 数		74	59	67	63	52
朝 来 市	小 計	30	30	32	27	26
	火 災				2	
	交 通 事 故	18	15	16	6	17
	水 難 事 故	2		5	2	
	自 然 災 害				3	
	機械による事故	2	2			
	建物等による事故		2	1	1	1
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	8	11	10	13	8
養 父 市	小 計	43	29	34	36	26
	火 災	3				
	交 通 事 故	23	14	19	18	10
	水 難 事 故	1	1	1		2
	自 然 災 害				1	
	機械による事故		1			1
	建物等による事故	1		1	4	1
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	15	13	13	13	12
管 外		1		1		



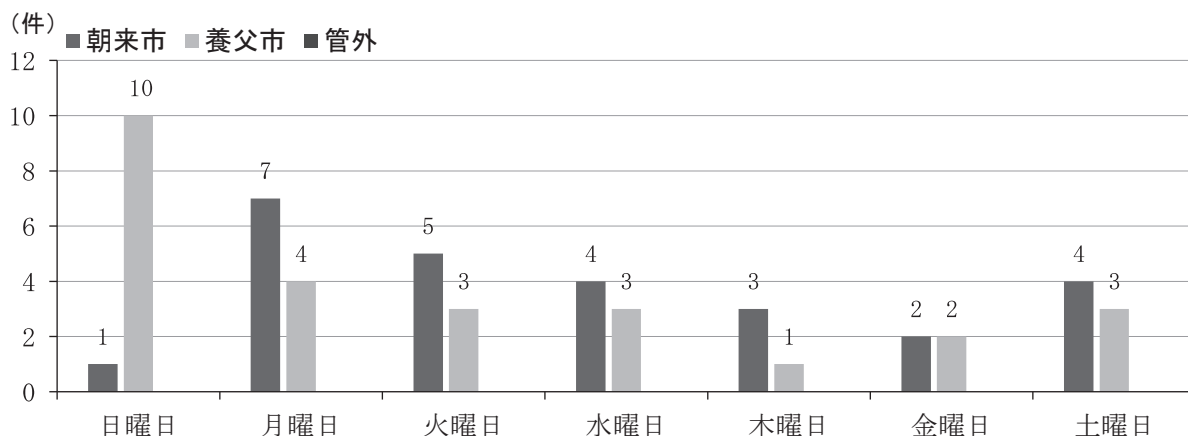
月別救助発生状況

種別	月別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	種別	数													
総	数		52	3	1	4	4	11	2	4	6	6	5	4	2
朝来市	小計		26	2		1	3	5	1	2	5	3	3	1	
	火災														
	交通事故		17	2		1	2	4		1	3	3	1		
	水難事故														
	自然災害														
	機械による事故														
	建物等による事故		1											1	
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他		8				1	1	1	1	2		2		
養父市	小計		26	1	1	3	1	6	1	2	1	3	2	3	2
	火災														
	交通事故		10			2		3			1	1	2	1	
	水難事故		2							1		1			
	自然災害														
	機械による事故		1							1					
	建物等による事故		1												1
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他		12	1	1	1	1	3	1			1		2	1
管外	小計														



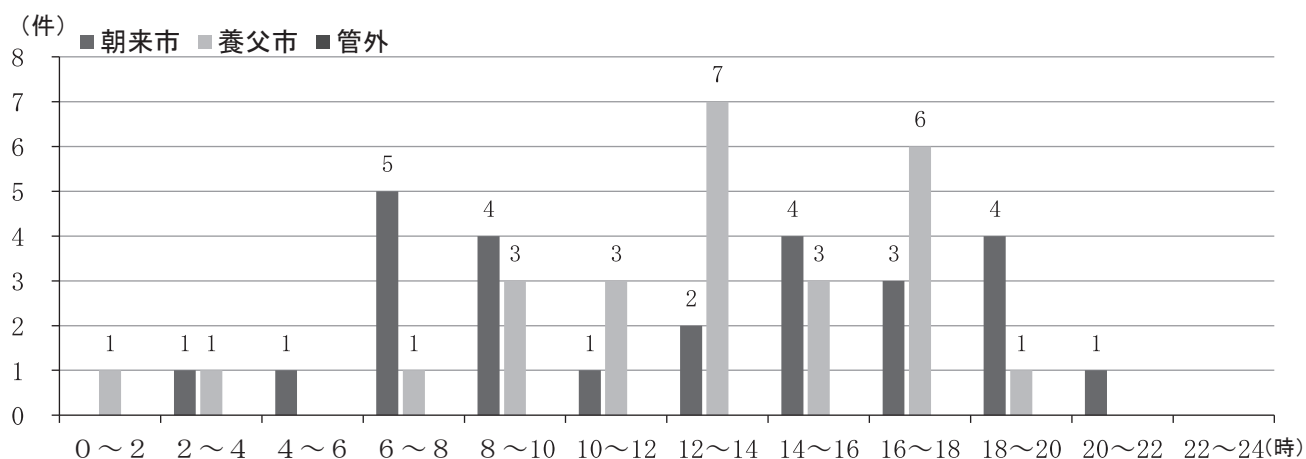
曜日別救助発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		52	11	11	8	7	4	4	7
朝来市	小計	26	1	7	5	4	3	2	4
	火災								
	交通事故	17		5	3	3	3	1	2
	水難事故								
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	1		1					
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	8	1	1	2	1		1	2
養父市	小計	26	10	4	3	3	1	2	3
	火災								
	交通事故	10	2	2	1	2	1	1	1
	水難事故	2	1						1
	自然災害								
	機械による事故	1		1					
	建物等による事故	1							1
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	12	7	1	2	1		1	
管外	小計								



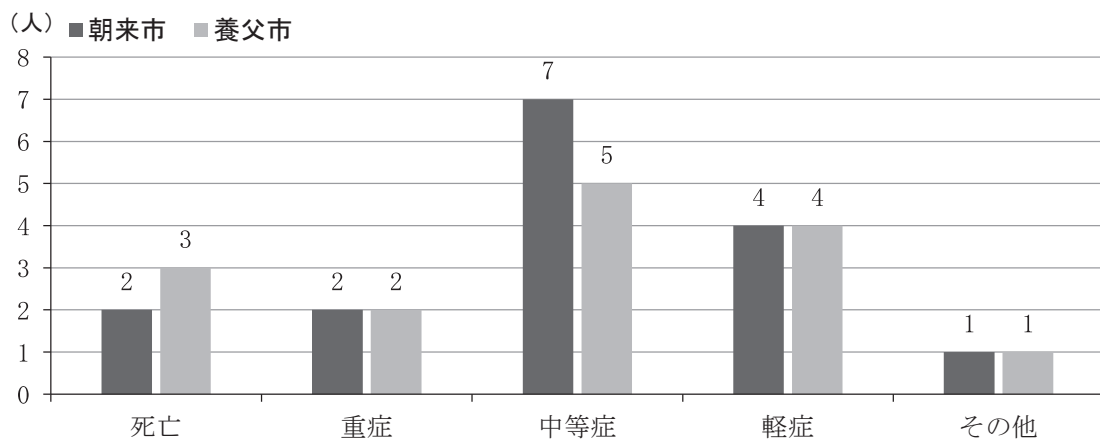
時間別救助発生状況

種別	時間別	総数	時間別											
			0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総	数	52	1	2	1	6	7	4	9	7	9	5	1	
朝来市	小計	26		1	1	5	4	1	2	4	3	4	1	
	火災													
	交通事故	17		1		3	3			4	2	3	1	
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	1				1								
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	8			1	1	1	1	2		1	1		
養父市	小計	26	1	1		1	3	3	7	3	6	1		
	火災													
	交通事故	10				1			2	2	4	1		
	水難事故	2		1							1			
	自然災害													
	機械による事故	1							1					
	建物等による事故	1	1											
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	12					3	3	4	1	1			
管外	小計													



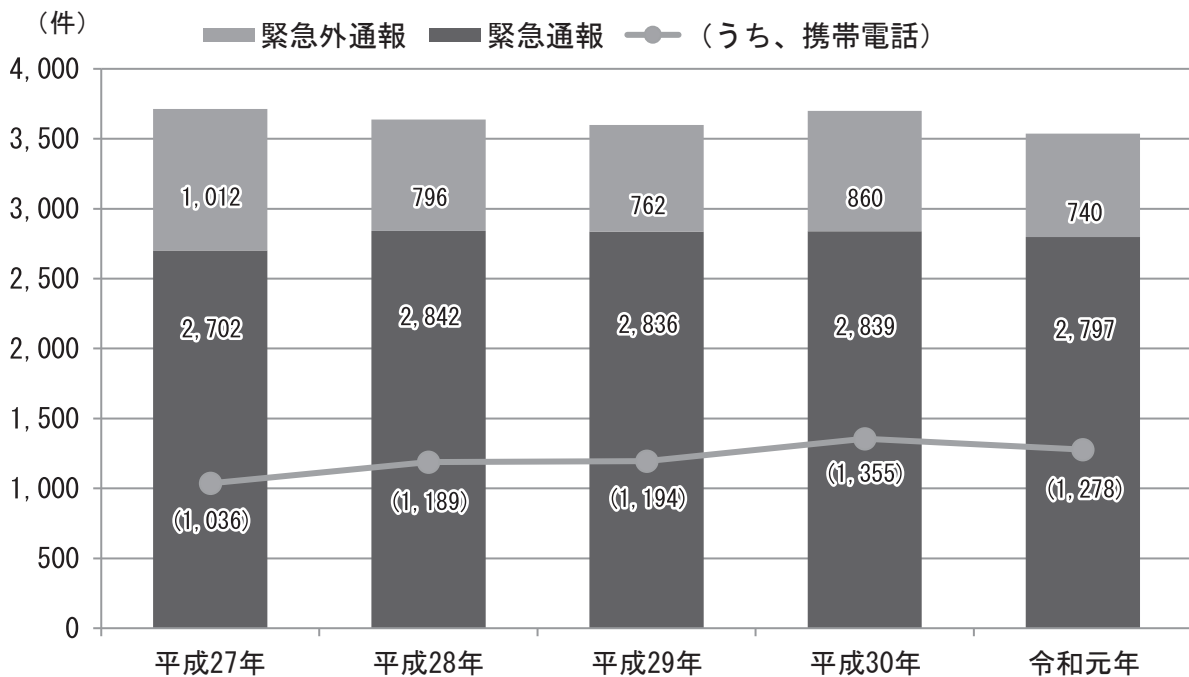
事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度	救 助 人 員				
		総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
総 数		31	5	4	12	8	2
朝 来 市	小 計	16	2	2	7	4	1
	火 災						
	交 通 事 故	9	1	1	4	2	1
	水 難 事 故						
	自 然 災 害						
	機械による事故						
	建物等による事故	1		1			
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	6	1		3	2	
養 父 市	小 計	15	3	2	5	4	1
	火 災						
	交 通 事 故	6		1	3	2	
	水 難 事 故	2	2				
	自 然 災 害						
	機械による事故						
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	7	1	1	2	2	1
管外	小 計						



年次別 119 番受信状況

種別		年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総数 (うち、携帯電話)			3,714 (1,036)	3,638 (1,189)	3,598 (1,194)	3,699 (1,355)	3,537 (1,278)
緊急通報	小計		2,702	2,842	2,836	2,839	2,797
	火災通報		22	21	15	23	18
	救急通報		2,412	2,576	2,591	2,572	2,545
	病院照会		103	59	65	48	48
	台風関連等 第2報等		131	146	127	149	155
	ガス漏検索等 誤報等		34	40	38	47	31
緊急外通報	小計		1,012	796	762	860	740
	通報訓練		324	327	305	304	345
	間違い		115	90	94	117	88
	いたずら		1	3	4	1	
	問合せ		43	74	83	111	62
	その他		529	302	276	327	245



消防用機器の配置状況

令和2年4月1日現在

	名 称	朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設 I 型	1	
	119番専用回線（携帯等含）	8回線	
	119番FAX受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	2	1
	防災無線設備	1	
	簡易車両動態システム	6	5
	消防職団員参集メールシステム	1	
消 防 資 機 材	ホース（65mm）	129	114
	ホース（50mm）	147	161
	C級可搬式ポンプ	3	1
	D級可搬式ポンプ		1
	ジェットシューター	27	25
	高発泡器	1	1
	組立式布水槽	3	3
	C A F S 薬剤	3400	1000
	熱画像直視装置	1	1
	救 急 資 機 材	半自動除細動器	3
患者監視装置		3	3
パルスオキシメーター		3	3
喉頭鏡		3	3
ビデオ硬性喉頭鏡		2	3
気管挿管セット		3	3
呼吸管理器具		3	3
自動式心マッサージ器		3	3
陰圧式固定具		3	3
スクープストレッチャー		5	4
バックボード		9	6
高度救急シミュレーター		2	2
静脈注射訓練モデル		1	1
心肺蘇生訓練用人形		9	9
A E D トレーナー		4	4
ショートボード		1	2

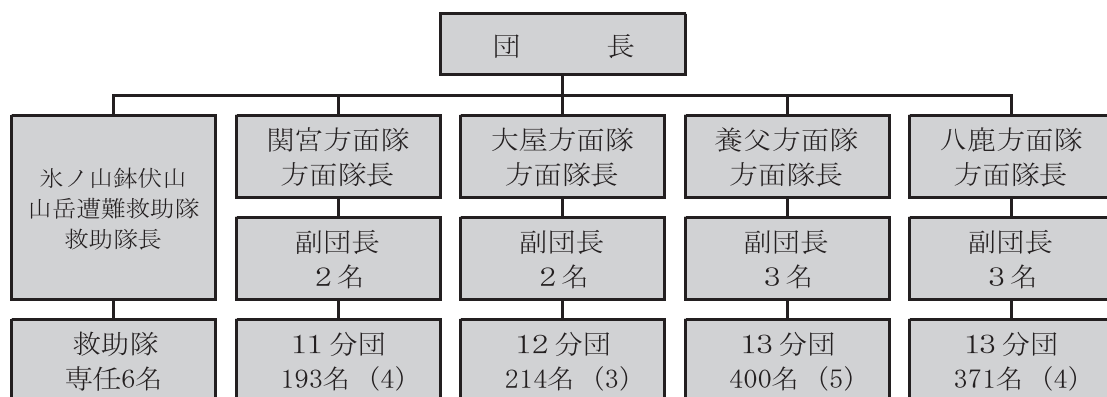
	名 称	朝来署	養父署
救 助 資 機 材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	3	2
	エアーカーター	1	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	2	2
	チェーンソー	3	2
	ルーカスレスキューツール	1	1
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
救 助 資 機 材	緩降機	1	1
	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	2	2
	スケッドストレッチャー	3	3
	ガス溶断機	1	1
	エアソー	1	1
	グラスソー	7	4
	化学防護服（陽圧式）	4	
	化学防護服	4	6
救 急 資 機 材	防毒マスク	14	7
	マンホール救助器具	1	1
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具	2	1
	削岩機		1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器	1	1
	G P S	2	2
救 急 資 機 材	ハンマードリル	2	1
	セイバーソー	1	1
	エアータント	2	1
	ウエットスーツ一式	5	6
	救命胴衣（PFD含む）	34	40
	救命浮輪（浮環）	6	5
	救助用ボート	1	1
	船外機	1	1

各種団体

消 防 団

令和2年4月1日現在

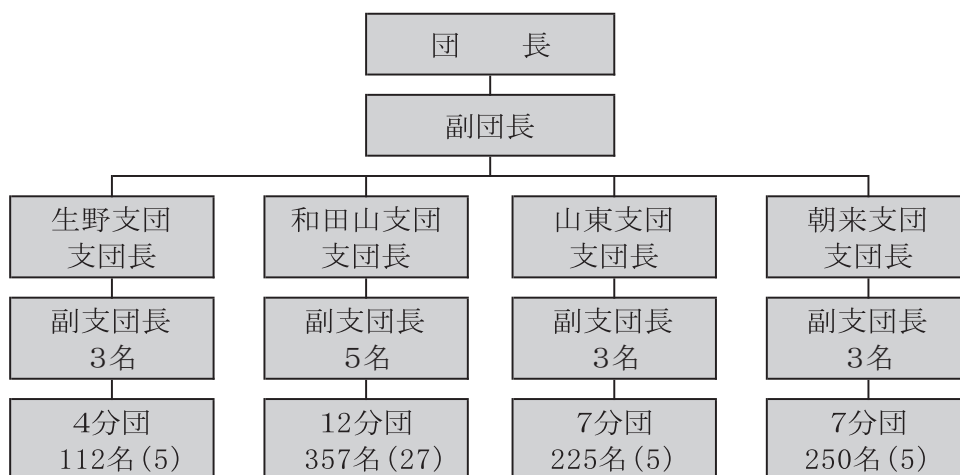
●養父市消防団組織図（総員1,200名）



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

() 内は女性団員

●朝来市消防団組織図（総員964名）



() 内は女性団員

●消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

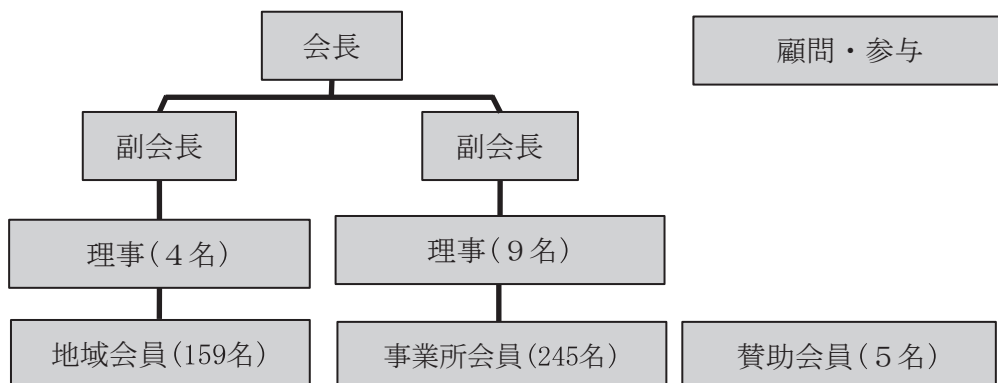
令和元年度消防団との合同訓練内容

養父市	10月 27日	養父市総合防災訓練	八鹿町小山
	11月 10日	養父市密集地火災防ぎょ訓練	養父市関宮
	1月 26日	八鹿方面隊との合同消防訓練	八鹿町馬瀬
	3月 1日	養父方面隊との合同消防訓練	養父市小城
朝来市	8月 6日	生野支団合同訓練	生野町川尻
	11月 9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町中
	11月 10日	山東支団早朝合同訓練	山東町迫間
	1月 19日	赤淵神社文化財合同消防訓練	和田山町枚田

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

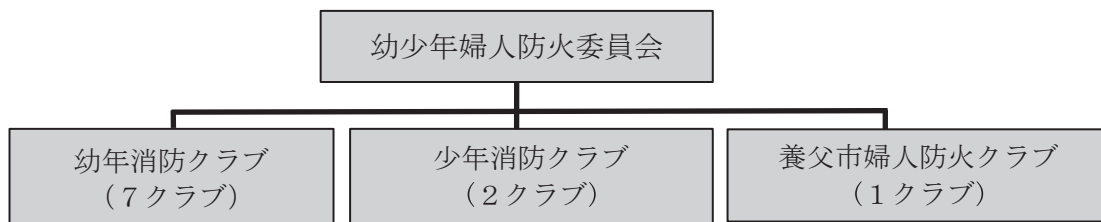
(令和2年4月1日現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

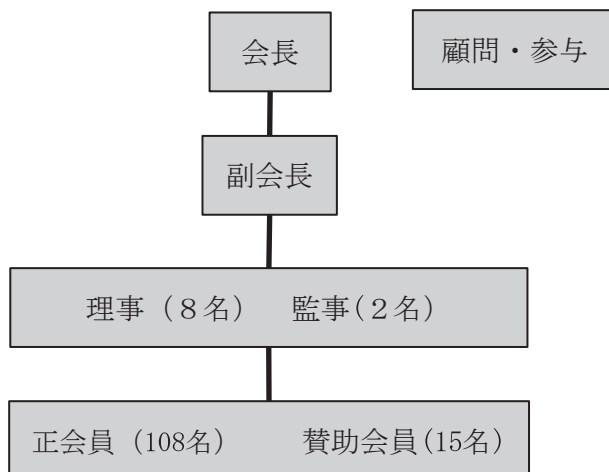
(令和2年4月1日現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(令和2年4月1日現在)





茶すり山古墳（朝来市）
提供：吉田 利栄氏



樽見の大桜（養父市）
提供：やぶ市観光協会

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

消防年報 第8号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。